

# 第 22 回 定時株主総会 議 案 書

日 時 令和 5 年 6 月 28 日(水) 午前 10 時から  
場所 新しい村 村の集会所

[この議案書は、定時株主総会当日にご持参ください]

株式会社新しい村

■議案■

□報告事項 第22期事業報告書報告の件

○第22期事業報告書

第22期決算書類の報告の件

○貸借対照表 ○損益計算書 ○販売費及び一般管理費

○製造原価報告書 ○株主資本等変動計算書 ○個別注記表

○財産目録 ○監査報告書

□議案第1号 第23期経営方針(事業計画案)の件

□議案第2号 取締役の報酬額の件

取締役の受けるべき報酬の額を年額500万円以内とし、支給の額は取締役会議で決定する。

□議案第3号 監査役の報酬額の件

監査役の受けるべき報酬の額を1名につき年額8万4千円とする。

□議案第4号 会計参与の報酬額の件

会計参与の受けるべき報酬の額を年額19万8千円とする。

□報告事項 第 22 期事業報告書報告の件

○第 22 期事業報告書

第 22 期決算書類の報告の件

○貸借対照表 ○損益計算書 ○販売費及び一般管理費

○製造原価報告書 ○株主資本等変動計算書 ○個別注記表

○財産目録 ○監査報告書



【第22期】

事 業 報 告 書



(作成日 令和5年4月吉日)

株式会社 新しい村

## 第22期事業報告書

(株)新しい村の今期は、宮代町の指定管理者として、3カ年契約の最終年度を終了しました。

改めて、全従業員一丸となり宮代町の「農」のあるまちづくり政策推進を基本に全ての事業部においては、「お客様第一主義と現場主義」をモットーに、地域社会に愛され信頼される健全な会社経営と指定管理者としての役割を十分理解した上での運営を行いました。

### (株)新しい村企業理念

わたしは、「農」のあるまちづくりの理念を理解し、政策実現のできる従業員を目指します。

わたしは、お客様に心から感謝の気持ちを表現できる従業員を目指します。

わたしは、お客様に心から気配りのできる従業員を目指します。

わたしは、地域社会に愛され信頼される従業員を目指します。

わたしは、仕事に対し常に問題意識を持ち行動できる従業員を目指します。

### (株)新しい村経営基本方針

1. 新しい村が「農」のあるまちづくりの拠点施設であることを理解し、宮代町との連携と協力を図り、地産地消の推進と農風景の維持保全に努めて参りました。
2. 新しい村を起点とした交流の輪を更に広げ、「農」に親しむ町民を増やし、新たな価値の創造構築に繋げて参りました。
3. 宮代町の農業を将来に渡し、守り続けるという使命感と責任感を持って、事業部内の管理運営を目指して参りました。
4. 全スタッフが収益面での意識改革による経営を行い、併せて生産者の所得向上にも努め極限まで町の委託料に頼らない自立した事業運営に努めて参りました。
5. 施設利用者の平等、公平な利用の確保など、宮代町が定める「管理運営の原則」に沿った施設運営を行いました。

以上の経営基本方針の下、全事業部が指定管理要求水準に基づき町との施策共有を図りながら具現化に向け安定した運営に努めて参りました。

今期も引き続き運営面では、大きくは取締役会の充実と、現場で働く従業員との社員定例会議を有効に活用し、スタッフとのコミュニケーションを図りながら状況確認による的確な判断の下で、数値面、管理面、政策面などの業務改善に努めてまいりました。(株)新しい村は宮代町の指定管理者であることから、従来どおり町役場担当部署、及び新しい村事業部スタッフとの月に一度の経営会議の継続は不可欠で、社内運営状況に関する助言や運営面の共有を図り、より良い施設環境を最大限に活かし、お客様の満足度を高めて参りました。

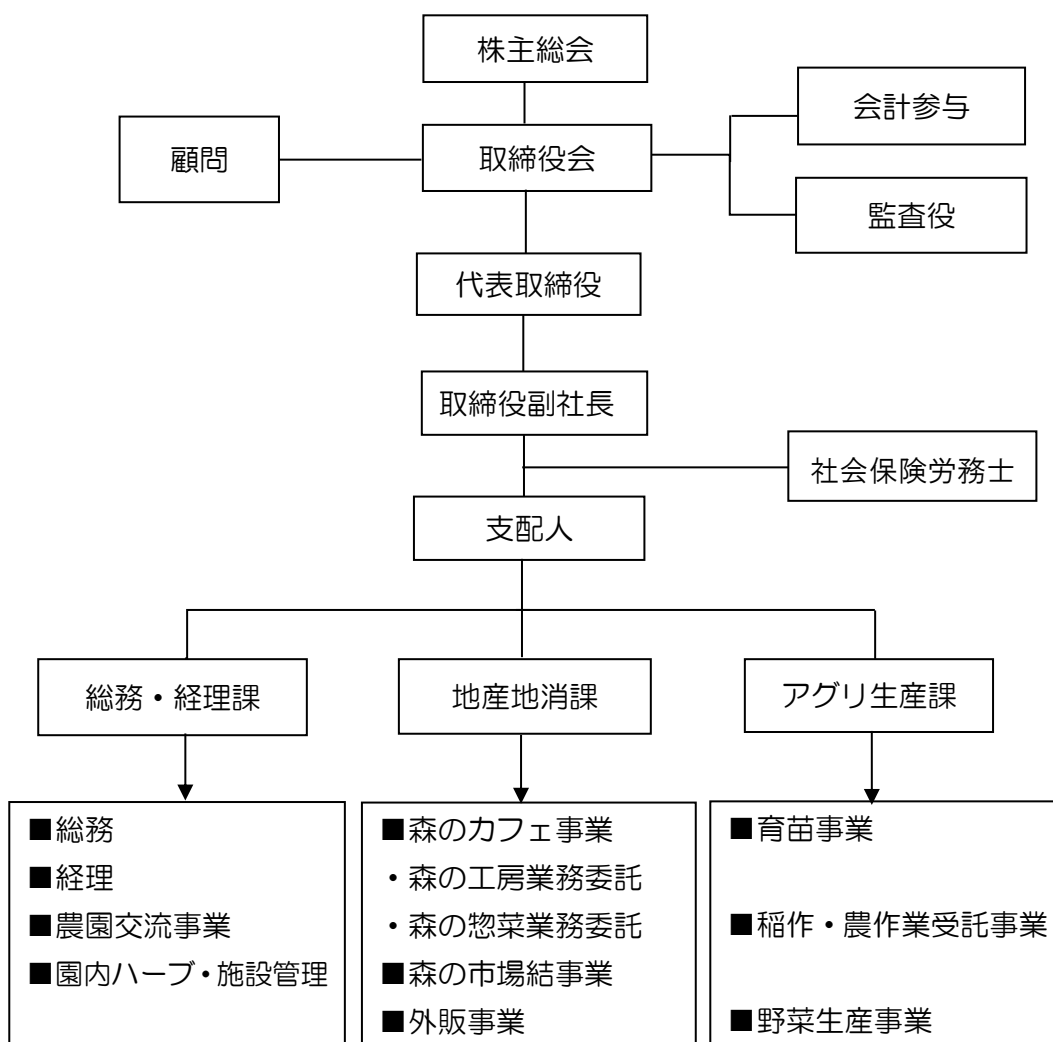
また、今後更に加速が予想されます生産者の高齢化と後継者不足により農業支援事業部におきましては、「水稻苗、稲作、農作業受託業務」などの受注体制を視野に入れた業務を念頭に置き日々の業務を邁進しています。

併せて宮代町の政策である、森の市場「結」の地産地消推進事業に関しましても、現状は、生産者の高齢化と後継者不足も年々加速し生産者の減少に伴い出荷量は減少傾向にあり課題を残しています。現状打開策としましては、生産者会議、及び日々のコミュニケーションによる出荷量の協力依頼と自社

農産物生産量拡大を含めたあらゆる手段と、積極的な新規の会員確保に全力で取り組み、お客様に支持される直売所を前提とし、生産者、商業者及び従業員の生活の安定を目指した運営を微力ながら努めて参りました。

又20周年記念行事も実施の方向で計画はしていましたが、コロナ禍の状況を見極めながらでしたので、残念ではありますが次の節目で実施を考えています。又新型コロナウイルス感染症対策に関しましては、お客様が安心してご来所いただけるよう、感染症防止対策を行い大きなトラブルもなく一年間運営が出来ました

《株式会社新しい村組織図》



# I 森のカフェ事業（地産地消課）

## ■第22期森のカフェ事業報告書

下記の事業運営方針に基づき実施しました。

### 1. 事業の運営方針

本事業の目的は「農」のあるまちづくりの理念に基づき、カフェメニューなどの販売を通じ、お客様へ食育を推進していく最も重要な役割を主とした事業で、その目的とするものは以下の通りとなります。

### 2. 事業の概要

(1) 「農」のあるまちづくりの理念に基づき、地元農産物を使用した新規メニューの考案、及び販売を通じ地域のお客様から支持される施設運営に努めました。

(2) 地元で採れた農産物を積極的に取り入れることにより、健康に配慮したメニューとの共有を図り、より一層地域のお客様へ安心・安全で満足度の高い食育提案を実施して参りました。

(3) 地元農産物の食材にて、付加価値のある商品を開発するなど、販売実施の具現化を目指しカフェ事業として独自のオリジナルメニューの確立を常に追求した業務運営を心掛けました。

(4) 新型コロナウイルス感染症の経過状況を踏まえ、課題となっている店舗運営形態に伴い、お客様へ配慮した店外休憩スペースを設け、お客様の利用頻度を上げることで収益の改善を含めた運営を行っています。 **店外休憩スペースは総席数22席**

### 3. 第22期の目標及び実施、施策事項

#### (1) 新しい村オリジナル、カフェ新規メニュー開発の継続

##### ◆実施内容（手段と対策）

- ①旬の野菜や果物にこだわることを第一に地場産農産物を使用した新規メニューの考案。
- ②地場産食材を使用した他店にないオリジナルメニューの考案。
- ③スーパーマーケットやコンビニエンスストア等で販売している売れ筋商品を参考にした新しい村ならではの商品開発。

□目標値：収益貢献オリジナル商品1アイテムの確立、カフェ売上全体の15%以上確保

#### (1) に関する報告

- ①旬の野菜や果物を使用したドリンクやパフェの販売を心掛け運営にあたりました。
- ②オリジナルメニューはトップ5に入るものの、パフェの売上は640千円で全体売上の6%となりました。今後も継続してオリジナルメニューの育成と他社事業所との差別化を図れる主カメニューになる様に努めます。
- ③商品開発としては、季節を感じていただける様、様々な旬のドリンク提供を心掛けました。

#### ■主な季節限定実施、施策メニュー売上、及び売上点数状況

金額単位：千円

| No. | メニュー                 | 売上金額 | 売上点数 |
|-----|----------------------|------|------|
| 1   | 季節のソーダ（赤紫蘇・夏みかん・ハーブ） | 294  | 839  |
| 2   | 季節のケーキ（おいものケーキ他）     | 264  | 602  |



|   |               |       |      |
|---|---------------|-------|------|
| 3 | 季節のスープ（プレート含） | 208   | 448  |
| 4 | 季節のジュース       | 493   | 1461 |
| 5 | 季節のシェイク       | 77    | 255  |
| * | 合計            | 1,336 | 3605 |

※売上実績合計1,336千円売上構成比12.4%

### (2) 季節イベント時の販売強化

#### ◆実施内容（手段と対策）

①森の市場「結」及び町主催のイベントに積極的に参加し、季節に応じた一品メニュー、ワンハンド、ワンコインで手軽に食べられる商品を販売し収益の増大に努める。

②イベント時限定食を通じ宮代町、新しい村の魅力を高める商品メニューの販売。

□目標値：イベント時の一日平均販売額35,000円、年間目標6回

#### (2) に関する報告

①と②は昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、表立った対面販売やイベントは実施できませんでしたが、4月から6月はイチゴ、ブルーベリーパフェなどで春夏メニューの販売強化を行いました。

②7月から9月にかけては夏のベジフルフェアで、新規メニューの【ベジ氷】や、季節のドリンク・スイーツなどを提供、秋以降は野外の休憩スペースが増設になりお客様の利用も増え、ゆっくり過ごしてもらう為に温かいドリンクの仕込みを増やし販売強化に繋がりました。

□夏、冬限定実施、施策メニュー売上、及び売上点数状況

金額単位：千円

| 項目     | メニュー          | 売上金額 | 売上点数 |
|--------|---------------|------|------|
| 夏のメニュー | フルーツアイスキャンディー | 97   | 32   |
| 夏のメニュー | いちじくジュース      | 109  | 314  |
| 冬のメニュー | ほっとレモネード      | 93   | 266  |
| 冬のメニュー | ほっとゆず         | 89   | 253  |
| *      | 合計            | 388  | 865  |

※売上実績合計388千円売上構成比3.6%

### (3) 社内の部門間連携の継続

#### ◆実施内容（手段と対策）

①ハーブ園で育てたハーブを活用したメニュー、またはアグリ生産課で育てた農産物を取り入れた商品をメニュー化した販売に努める。

②開発商品販売に関しては、POPやSNSを最大限に活用し、新しい村全体のイメージアップに繋る宣伝効果を積極的に努める。

□目標値：観光事業商品の連携商品、アグリ生産課野菜連携商品メニュー年間3アイテム

□1日平均5点、年間販売数1,560点

#### (3) に関する報告

①新規メニューとしまして自社生産米を使用した米粉ロールの販売を行いました。今後も継続して販売し定番メニューを考えています。

②カフェ部門の魅力アップ活性化として、部門間連携を図り、アグリ生産課スタッフにより、前職のノウハウを活かした地場産農産物シロップ（ベジ氷）の販売を季節限定にて実施しました。部門の垣根を越えた販売協力で、予想外の売上げを確保することができました。また、ピーク時間帯など他部門から応援していただく事で、繁忙期の際にも安定した店舗運営ができました。

③農園交流で栽培しているハーブや自社製ジャムを活用した季節のソーダは、前年度より販売数が大幅増加するなど、新しい村全体のイメージアップに繋がる商品を販売することができました。

④販売促進の手段としまして店内POPやSNSを積極的に活用した販売を行い収益に繋がる様心掛けました。

□季節限定実施、施策メニュー売上、及び売上点数状況

金額単位：千円

| No. | メニュー                   | 売上金額  | 販売点数 |
|-----|------------------------|-------|------|
| 1   | 米粉のロール                 | 23    | 114  |
| 2   | 季節限定オリジナルベジ氷6月～8月（土・日） | 200   | 202  |
| 3   | 季節のソーダ各種               | 315   | 926  |
| 4   | パフェ各種（いちご・ブルーベリー・ベジフル） | 640   | 1653 |
| *   | 合計                     | 1,178 | 2895 |

※売上合計1,178千円売上構成比10.9%

（4）カフェメニューの作業効率化及び収益の確保

◆実施内容（手段と対策）

- ①年間2回のメニュー改定検討会の実施。
- ②売れ筋商品の集約化に努め、配膳スピード化の検証改善。
- ③月次損益ごとの数値意識向上の追及と検証。

□目標値：主要ベスト12アイテムにてのメニュー展開を視野に入れた定番商品の確立と、作業の効率化を図り、お客様の配膳配慮のスピード化に努める。

（4）に關しての報告

①手間のかかるメニューは、売上と作業効率のバランスを見ながら随時入れ替えを行い、スタッフの負担軽減と、配膳スピードの向上、及び売上アップを意識しながらの業務を継続しています。また、四季折々に代わる限定メニューを提供する事で、常に目新しさを掲げつつ、同時に安定的に売れる商品の販売数アップにも繋げました。

②野外休憩スペース増設で利用されるお客様が増え、売れ筋商品のドリンクやケーキの仕込みを増やしスピーディに提供することを目標とし、お客様の満足度を高める様努めています。

③月次損益は毎月の定例会議で話し合ったことをスタッフに伝え意思疎通を図っています。

4. 第22期主力メニューベスト「5」状況

金額単位：千円

| No. | 項目       | 売上金額  |       |     |       | 売上点数 |       |       |
|-----|----------|-------|-------|-----|-------|------|-------|-------|
|     |          | 本年    | 昨年    | 差異  | 対比%   | 本年   | 昨年    | 差異    |
| 1   | ソフトクリーム  | 3,039 | 3,021 | 18  | 100.6 | 9687 | 10072 | ▲385  |
| 2   | 有機栽培コーヒー | 1,206 | 817   | 389 | 147.6 | 4033 | 2726  | 1,307 |

|   |            |       |       |     |       |       |       |      |
|---|------------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|------|
| 3 | 季節のソフトクリーム | 1,002 | 822   | 180 | 121.9 | 3139  | 2571  | 568  |
| 4 | 森の野菜カレー    | 1,393 | 1,287 | 106 | 108.2 | 2103  | 1946  | 157  |
| 5 | パフェ各種      | 640   | 661   | ▲21 | 96.8  | 1653  | 1719  | ▲66  |
| * | 合計         | 7,280 | 6,608 | 672 | 115.0 | 20615 | 19034 | 1581 |

※売上合計7, 280千円売上構成比67. 6%

### 5. 第22期実施、施策の年間販売目標及び実績報告

金額単位：千円

| No. | 項目                       | 実施内訳   | 販売目標  | 販売実績  | 売上点数 |
|-----|--------------------------|--|-------|-------|------|
| 1   | 新しい村オリジナル、カフェ新規メニュー開発の継続 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・12点/1日×26日/1ヵ月×12ヵ月=3744点/年</li> <li>・3744点×350円/1点</li> </ul> | 1,310 | 1,336 | 3605 |
| 2   | 季節イベント時の販売強化             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・6回/1年間×35,000円/1点</li> </ul>                                   | 210   | 301   | 865  |
| 3   | 社内の部門間連携の継続              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・5点/1日×26日/1ヵ月×12ヵ月=1,560点/年</li> <li>・1,560点×300円</li> </ul>   | 468   | 864   | 1794 |
| *   | 合計                       |  | 1,988 | 2,501 | 6264 |

※売上合計2, 501千円売上構成比23. 2%

### 6. 第22期売上計画

#### ■第22期月別売上予算、実績、及び前期比較

金額単位：千円

| 月 度  | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 今期予算 | 1,300  | 1,000  | 930    | 920    | 1,050  | 870    |
| 今期実績 | 1,055  | 1,134  | 800    | 947    | 1,008  | 944    |
| 前期実績 | 1,183  | 1,094  | 935    | 988    | 895    | 973    |
| 増 減  | ▲128   | 40     | ▲135   | ▲41    | 113    | ▲29    |
| 前期比較 | 89.1%  | 103.7% | 85.6%  | 95.9%  | 112.6% | 97.0%  |
| 月 度  | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     |
| 今期予算 | 950    | 870    | 580    | 500    | 810    | 920    |
| 今期実績 | 1,080  | 827    | 580    | 669    | 659    | 1,059  |
| 前期実績 | 886    | 911    | 501    | 464    | 557    | 1,055  |
| 増 減  | 194    | ▲84    | 79     | 205    | 102    | 4      |
| 前期比較 | 121.9% | 90.8%  | 115.8% | 144.2% | 118.3% | 100.4% |

#### ■第22期売上予算、実績、及び前期比較

金額単位：千円

| 項 目     | 今期予算   | 今期実績   | 前期実績   | 予算対比   | 前期対比   |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 上半期売上合計 | 6,070  | 5,888  | 6,068  | 97.0%  | 97.0%  |
| 下半期売上合計 | 4,630  | 4,874  | 4,374  | 105.3% | 111.4% |
| 年間売上合計  | 10,700 | 10,762 | 10,442 | 100.6% | 103.1% |

## Ⅱ 森の市場「結」(地産地消課)

### ■第22期直売所事業報告書

下記の事業運営方針に基づき実施しました。

#### 1. 事業の運営方針

- (1) 宮代町の「農」のある環境を最大限に活かし、生産者農産物直売所としての更なる活性化を目指した運営に努めます。
- (2) 自然豊かなロケーションを最大限に活かし、「農産物直売所、及びカフェ」とマッチングした憩いの場としてお客様から支持を得られる施設運営に努めます。
- (3) 町内、町外のお客様へ、安心・安全な農産物を地産地消の基本理念に基づき食材提供の場とした直売所の運営に努めます。

#### 2. 事業の概要

- (1) 宮代町の資源「農」から生産できる農産物販売所である森の市場「結」は、生産者とコミュニケーションを図り地場野菜の確保に努めました。
- (2) サービス業としてのあらゆる情報の収集、また専門家より得た知識、外部講師から得た知識などを多くのお客様に配慮し、町内、町外よりご来所いただいたお客様から支持される直売所を目指しました。
- (3) 支援事業の一環として、農産物、商業者製品、及びその他の商品を買物難民地域へ、町の指定管理者の役割として無料宅配サービスの実施を継続しました。
- (4) 常に消費者、生産者、商業者の目線に立ち、スタッフとのコミュニケーションを図り施設管理、商品管理を常に心掛け、お客様の満足度を高めると共に収益の安定化に努めました。

#### 3. 第22期の目標、及び実施、施策事項

##### (1) 地場産農産物の売上高比率の確保

###### ◆実施内容(手段と対策)

- ①町内、及び町外の新規生産者、商業者を開拓し販売量の増加に努める。
- ②自社アグリ生産課と連携し、森の市場「結」の高齢化による出荷量の減少を補う。
- ③既存生産者へ定期的に年間作付け計画書の提出を要請し、計画と実態の確認を生産者組合会議の議題としてフィードバックし、出荷量増のアプローチ強化に努める。
- ④集荷サービス先件数増の確保を目指し、地場産、及び近隣野菜の集荷量のアップ。

□目標値：地場産農産物売上比率60%キープ

□目標値：新規生産者集荷先年間2件

##### (1) に関する報告

###### ①農産物地場産比率60%キープ

※第22期、令和4年4月度～令和5年3月度月別地場産率状況

|    |       |       |       |       |       |       |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 項目 | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    |
| 比率 | 54.7% | 59.5% | 51.8% | 49.2% | 41.7% | 41.0% |
| 項目 | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    |

|    |       |       |       |       |       |       |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 比率 | 45.7% | 51.3% | 48.0% | 44.6% | 43.9% | 45.0% |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

※6月3日、降雹被害により、地場産率の減少が伺えます。

□目標値：新規生産者集荷先年間2件を確保し、出荷量減少を補っています。

■実績、施策報告

①新規生産者入会状況

- ・町内 4名（森田康平「ブルーベリー」・大塚大空「野菜」・伊藤和則「野菜」・もち処Jファーム「惣菜、加工品」）
- ・町外 5名（ホームメイドステッセペストリー「クッキー他」・折原てる子「漬物」・船田一希「野菜」・山口豊「椎茸」・小室等「いちご」）

②自社アグリ生産課と連携し、自社生産で出荷量の減少を補うために部門間で連携をし、主力のトマト、サニーレタス、レタス、ニンジン、ブロッコリー、キャベツ、さつまいも、じゃがいも、その他などの商品を販売し地場産の品不足にならない様、共有しました。

③生産者組合会議や組合便りにて出荷量の要請を行い、販売量を増やす取り組みを行っています。

④新規に2件の集荷先を含め、全体で7件の商品集荷を実施しました。年間集荷461件、内訳野菜農家3軒、果樹農家1件、商業者3件

(2) 魅力ある直売所作り

◆実施内容（手段と対策）

①地産地消を前提とした、最低商品販売基準「一商品3生産者」を目標とし、お客様が商品を選択出来る直売所に努める。

②町内、及び近隣生産者、商業者の開拓を行い、飽きさせない販売商品の品揃えと、新規開拓差別化商品の販売促進に努める

③果物に関し、ランク別規格品の品揃えの売場展開により、生産者商品規格の向上を共に共有した販売を行うことで、消費者のニーズに対応する。

④季節ごとの特集コーナーを充実させ、季節感のある売場展開を目指す。

⑤販売促進の強化。（POP、及びレシピの配布、SNSの活用）

□目標値：売上達成率昨年対比100%以上確保

(2) に関する報告

①一商品3生産者を目標とした日々の業務を行い、お客様に支持される売場展開を日々心掛け運営を行っています。

②と③に関しましては、6月3日に発生した降雹被害で地場産の農産物、特に果物は全壊でしたので政策に掲げた売場展開は出来ませんでした。野菜は一時近隣地域の農産物販売や仕入れ品の強化を行った売場展開に徹した為、現在ではお客様の減少もなく、販売商品に関しても近年生産者商品、及び規格もグレードアップした様に感じられます。

③果物は福島県宮代地区の果樹園より直接仕入れ、旬のものをアピールし販売しましたが大変好評でしたので引き続き次年度も販売を継続します。

④宮代町役場の協力もあり、保健センター栄養士のレシピも好評でした。また野菜ソムリエレシピも手書きにてPOPを作成し販売促進に努めました。

(3) 相乗効果的な売場作り

◆実施内容（手段と対策）

①農業従事者不足に伴い生産者の生産量、及び出荷量の減少を補う仕入品との適正なマッチングの継続により生産者の収入安定と売場の活性化に努める。

②酒販コーナーの充実化により相乗効果を図る。（自社部門間連携、日本酒のオリジナル品の販売）他、自社生産、（品種、五百万石）日本酒原料米受注、及び森の市場「結」にて製品販売、地方産地ワイナリー直送ワインの品揃えの強化。

□目標値：売上達成率昨年対比100%以上確保

（3） に関しての報告

①6月3日の降雹被害の影響により、生産者商品、特に果樹に関しましては、地元産は、ほぼ全壊になりました。対応策として、季節に応じた売場の活性化を補う為、果物は各地方産地品の仕入れ強化、及び野菜は被害に遭遇していない近隣生産者の出荷量増の要請や仕入れ品の強化を行い客数減少にならない様に心掛けました。

②酒販コーナーの充実化に向け、アグリ部門スタッフが前職の「酒類」仕入れノウハウを活かし、有名なクラフトビールやワイナリー直送品のワインなどの販売を行い大変好評で相乗効果に貢献しています。又6次化を含め、部門間連携による彩のきずなを原料とした日本酒を酒造会社へ委託、新しい村プライベートブランドとして720ml瓶（生、火入れ）約950本を商品化し、生酒440本に関しましては大好評により1カ月で完売しました。火入れ酒に関しましては、3割程の在庫を販売継続し相乗効果に繋がっています。

□第22期年間販売額、及び販売点数状況

金額単位：千円

| * 項目                | 今期    | 前期   | 前期対比 |
|---------------------|-------|------|------|
| * 酒販全体売上（主にオリジナル商品） | 3,322 | 993  | 335% |
| * 販売数量              | 4511  | 1863 | 242% |

（4） 売場多様化の継続

◆実施内容（手段と対策）

①各都道府県の特産品を販売することで、アンテナショップ構築の継続に努める。

②一部の果物に関して産地開拓を行い、直送品の売場作りを展開、同業種との差別化を図る。

③被災地支援を含めた地方特産品の開拓。

□目標値：果物産地直送商品年間2アイテムの導入、及び商品入替の実施による売り場展開

□目標値：既存導入商品プラス一都道府県の特産品を導入。（被災地企業支援商品含む）

（4） に関し報告

- ・特産品は、現状商品の売れ筋商品の見直しを実施し販売継続しています。
- ・渡辺果樹園（巨峰、桃、梨）などの差別化商品の販売、特徴ある千葉県製造ドレッシング3種（醤油にんにくドレッシング、和風たまねぎドレッシング、濃厚とろーりコーンドレッシング）他千葉県産茹落花生の販売を始めました。
- ・宮代地区、及び近隣にて6月3日の降雹被害があり、出荷量減少が予測されることもあり、今後季節に応じ、果樹生産団地の商品を積極的に取り入れた売場展開を行い、他事業所との差別化を行いました。

## (5) 集荷、宅配サービス事業の継続

### ◆実施内容（手段と対策）

#### ①集荷事業の手段

A 既存生産者、商業者、及び情報収集による町内、町外の納品困難な生産者の情報収集と生産者宅訪問による開拓。

B 地場産買取り商品の集荷による売り場の活性化に努める。

#### ②宅配事業の手段

A 宮代町内に限り米5kg以上お買上げのお客様の無料配達、またはその他商品含む3,000円以上お買上げ商品は、お客様へ無料宅配の実施継続。

B 特に買物難民地域への積極的な配達の実施を基本に広告チラシの定期的なポスティングによる宅配事業の周知徹底に努める。

C 買物難民地域へ主力農産物、及び商業者商品、その他商品を含み、農産物の端境期を除いた時期において季節期間限定販売の実施。

※周知方法：カタログを作成し買物難民地域へのポスティング実施、及び町内各自治会掲示版の活用など。

□集荷目標値：新規集荷先発掘年間2件

□集荷目標値：年間240回以上

□宅配目標値：年間240件以上

□外販目標値：買物難民地域へ年間4回の期間限定カタログ販売の実施

## (5) に関する報告

①に関して目標2件に対し、新規の集荷先は（農産物2件、商業者1件）が増えました。

②集荷サービス件数年間目標240回に対し461回

③宅配サービス件数年間目標240回に対し209回

※外販目標 4回/年間のカタログ販の実施・実施内容（10月、11月、12月）販売地域宮代台、和戸、年末各企業向け併用。

※6月は降雹被害で商品調達が困難な為実施できませんでした。

## (6) スタッフ教育の強化

### ◆実施内容（手段と対策）

①担当者会議の有効活用

②カフェ事業含むスタッフ間の朝礼時ミーティング活用

③商品取扱いなど現場OJTによる収益確保に対する意識向上

④講師を招いた勉強会の実施（テーマを社内共有しスタッフ間の意識向上を図る）

□目標値：担当者会議1回/月の実施

□目標値：勉強会最低1回/年以上の実施

## (6) に関する報告

①担当者会議、及び町との経営会議は、毎月実施し社内部門間、及び宮代町との情報共有を図りながらの運営に努めています。

②カフェ含めた朝礼は必要に応じ実施し、お客様からの要望や、スタッフ間の連絡などの共有を図りトラブル、クレームの無い業務を心掛けています。

③スタッフ勉強会は第22期の終盤3月27日(月) 村の集会所にて、佐藤社会保険労務士コンサルティング事務所代表を講師に招き、コンプライアンス&チームワーク研修を従業員全員参加にて行い意思の疎通を図りました。

【令和5年3月27日実施した、新しい村従研修会風景です。】



## (7) 生産者組合会議の充実化

### ◆実施内容（手段と対策）

①年間4回の実施（6月・9月・12月・翌3月）

②農産物作付け計画表の提出による出荷量確保の明確化

③農薬記帳シートの提出の追求と安心・安全な農産物生産の徹底

④生産者組合員会議の充実化、各部会報告・会社運営状況、連絡事項の報告、及びその他要請などの内容確認により生産者組合会員との意思疎通を図る。

□目標値：定例会議その他集会含め最低4回以上実施



## (7) についての報告

①新型コロナウイルス感染症拡大防止により6月の全大会議を延期し、7月には組合だよりを発行しました。

・11月1日には感染防止対策を行い組合会員全体会議を実施しました。

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため12月生産者便りにて各組合会員さんへ年末のイベント協賛依頼や商品販売に関する内容文面を配布しました。

・令和5年2月7日(火)生産者組合会員全体会議を開催し組合、及び会社の報告、連絡事項などの他に、約1時間程時間をとり10月からのスタートするインボイス制度に関して会計参与長谷川代表を招き説明会を実施しました。

②と③作付けシートや農業記帳シートは、その都度会議などで確認し提出の要請をした上で、習慣付けを目指しています。

④組合会議は不定期ですが、その都度問題があった場合、各部会の部会長や組合長と個々に相談をし、意思疎通を図っています。

【令和5年4月20日実施しました生産者組合員全体会議の風景です。】出席者が多くなりました



## (8) 消費者モニター会の実施継続

### ◆実施内容(手段と対策)

□目標値：年間4回実施。

【予定期日】第1クール当年11月・第2クール翌年2月・第3クール同年5月・第4回クール同年8月

※前記、記載年月を一年間の会合期間とし、以後の計画も同様募集となります。

### (8) に関し報告

- 1回目令和4年1月29日開催新しい村で気が付いた点、改善した方がよい点、
- 2回目令和5年2月28日福田まいたけ園視察
- 3回目5月30日(火) カフメニューの試食会予定
- 4回目8月に予定

■2月28日生産者の福田まいたけ工場視察風景です。(工場内、又福田まいたけ園社長とモニターさん、及びスタッフさんとの意見交換会)



### (9) 業務委託テナント(パン工房、惣菜)との業務共有

#### ◆実施内容(手段と対策)

- ①イベント時の販売共有
- ②委託者による村弁当の販売継続の共有
- ③カタログ販売の商品共有

□目標値:各テナント(パン工房、惣菜) イベント時の販売商品1回3品以上の共有を図る

□カタログ販売の共有、導入商品最低一品以上

### (9) に関しての報告

①新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、大きいイベントは実施できませんでしたが、店舗内で通常の販売を共有しました。

②業務委託テナント惣菜(あじまんま)は、新米のタイミングに合わせた村育ち新米おにぎりでの販売や、生産者のもち米を使用したおこわを販売しました。

③パンに関しましては(イルピノリーノ)パン製造テナント業者とコラボで惣菜パンや菓子パンを販売しました。またカタログ販売でも各委託業者と販売共有しました。

### (10) 新型コロナウイルス感染症防止対策の継続

- ◆現状の施設運営対策の継続の徹底
- ◆官公庁埼玉県ガイドラインに沿った運営と状況判断

### (10) に関しての報告

- 新型コロナウイルス感染拡大防止を行い運営にあたりました。

### (11) イベントの実施

■年間イベント別表記載

4. 第22期年間イベント実施、施策計画表

◎大イベント

| 期日                | □タイトル                                       | □計画内容   |
|-------------------|---|---|
| 4月                | 春の苗物市                                       | ①生産者の野菜苗・花苗、及び「野菜種、花種」の大量販売。<br>②コロナ禍の状況を見極め生産者による期日限定日を設けお客様へ「野菜の定植、肥料使用アドバイス者」を要請しお客様への配慮を行い販売促進に繋げる。<br>③協力業者による肥料詰め放題実施「化成肥料、有機肥料」など。                 |
| ◆4月度に関するイベント状況報告  |   | ①4/25日(火)～29日(金)実施。チラシ作成、肥料の詰め放題(朝日生産、宇都宮農園、青葉3社協力)期間売上51,300円。<br>②コンサート4件実施。(スキップビーズ・ゆるイート・ポップコーン、スイングアート)  |
| 5月                | ゴールデンウィークフェア                                | ①春の野菜苗、花苗販売継続。<br>②商業者を中心に甘いもの市や季節のお弁当販売。<br>※コロナ禍の状況を見極め春の園芸相談室開催予定。   |
|                   | ◎村の大収穫祭                                     | ①地場野菜をメインに積極販売。<br>②商業者、及び関係業者によるテント村出店。  |
| ◆5月度に関するイベントの状況報告 |   | 「ゴールデンウィークフェア」<br>①5月1日(日)～5(木)間実施。子供の日にちなんだ商品(笹のちまき、菖蒲切花)販売。お弁当惣菜多数販売。<br>②「村の大収穫」<br>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止。<br>・コンサート5件実施(スキップビーズ、アンバー、ゆるイート、ポップコーン・花) |
| 6月                | ◎ホテルのタベ<br>※主催NPO法人<br>「宮代水と緑のネットワーク」<br>主催 | ①ほっつけ田にてホテルの鑑賞会。<br>②森の市場「結」、森のカフェ営業時間延長(19:00迄)。<br>③店内商業者惣菜、商業者弁当類の販売要請。<br>※デッキでの商業者の出店要請、自社店頭実演販売の実施  |
| ◆6月度に関するイベント状況報告  |   | ①6月18日(土)ホテルのタベは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、主催者側で中止。<br>②コンサート4件実施(スキップビーズ・ゆるイート・  |

|                  |   |  |
|------------------|---|--|
|                  |   | ポップコーン・花)  |
| 8月               | ◎あっそんでフェスタ                                  | ①西口商店会とイベントの共有を図りテント村を設置<br>②「西口商店会、商業者、委託業者、自社」での屋外での実演販売。  |
|                  | 東武動物公園花火大会<br>を楽しもう<br>※主催「東武レジャー<br>企画（株）」 | ①営業時間の延長を行い、店内商業者商品の量販、及び<br>デッキにて商業者による飲み物、弁当類の販売「自<br>社、及び商業者」屋外にて実演販売の実施。   |
|                  | お盆セール                                       | ①生産者「果物、野菜、切り花（仏）」他お盆にま<br>つわる商業者商品の拡販。  |
| ◆8月度に関するイベント状況報告 |   | <p>「あっそんでフェスタ」</p> <p>①8月上旬予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、主催者側で中止となりました。</p> <p>②東武動物公園花火大会を楽しもうは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、主催者側で中止となりました</p> <p>③コンサート3件実施（スキップピース、ゆるいート、ポップコーン）</p> <p>④お盆セール</p> <p>・8/11（木）～15日（月）盆用切花、お供物商品販売実施（生産者、商業者、自社）含め、10名売上732,370円</p> |
| 9月               | ◎フルーツフェスタ・産直フェスタ                            | ①宮代産（巨峰・梨・いちじく）等の即売会実施。<br>※実施予定日9月3日（第一土曜日）<br>※近年の天候不順と生育状況により（可・不可）の決定<br>②フルーツ各産地商品の即売会。   |
|                  | 令和4年度産新米祭り                                  | ①直売所・新米宮代コシヒカリの即売会。<br>②惣菜委託業者による宮代コシヒカリ新米おにぎりの販売。   |
|                  | 敬老の日感謝デー                                    | 9月19日（月）先着150名様、新米特別栽培米プレゼント。（1kg進呈/1人）  |
| ◆9月度に関するイベント状況報告 |   | <p>①「フルーツフェスタ・産直フェスタ」</p> <p>・毎年恒例になっている大イベント（ぶどう、梨、いちじく）などの販売に関しましては、6/3（金）の降雹被害で商品販売が困難な為に、中止となりました。梨は訳ありで1生産者のみの店内販売、また今回は全ての生産者果物は地方発送出来ませんでした。</p> <p>②令和4年度産新米祭り</p> <p>9/24（土）～25日（日） 1,574円/5kg（税</p>  |

|              |                                       |   |
|--------------|---------------------------------------|---|
|              |                                       | <p>抜)にて販売。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総菜委託業者(あじまんま)新米おにぎり(宮代コシヒカリ)の販売実施。売上94,440円</li> </ul> <p>③敬老の日感謝デー<br/>9/19(月)先着150名新米特別栽培米コシヒカリ1kgプレゼント実施。</p> <p>④秋のお彼岸Week<br/>9/17(土)~25(日)彼岸切花、お供物商品販売実施。(生産者、商業者、自社含め9名、売上931,415円。)</p> <p>⑤コンサート4件実施(スキップピース、ゆるイト、ポップコーン、オリヤン)</p>  |
| 10月          | ◎秋の大収穫祭                               | <p>①地場野菜をメインに旬の野菜、果物を積極販売。</p> <p>②商業者、及び関係業者によるテント村出店。</p>   |
| ◆10月度イベントの報告 |                                       | ①新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止となりました。   |
| 11月          | ◎20周年+1周年記念感謝デー<br>※ビレッジフェスタ<br>(村の祭) | <p>【イベント計画】</p> <p>①1日限りお楽しみ抽選会先着300名様。</p> <p>【ビレッジフェスタ主な内容】</p> <p>②飲食ブース。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 自社生産、新米餅つき実演販売実施</li> <li>➢ 商業者、委託業者、協力業者等の出店要請</li> <li>➢ 新蕎麦実演販売要請</li> <li>➢ キッチンカー出店要請</li> </ul> <p>②体験ブース。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ クラフト販売(クラフトブース)の要請</li> <li>➢ ハーブ講座(ハーブ園にて)</li> <li>➢ 寄せ植え講座</li> <li>➢ 農機具親子体験(体験ブース)</li> </ul> <p>③クラフトブース。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 各専門店出店要請</li> </ul> <p>④コンサート、他要請。</p> |
| ◆11月度イベントの報告 |                                       | ①新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止となりました。  |
| 12月          | ◎歳末大感謝祭                               | <p>※新聞折り込み広告を入れた日替わりイベントの実施</p> <p>①12月27日(火)・28日(水)会社、及び生産者組合会員協賛による歳末大抽選会。</p> <p>②12月27日(火)歳末自社餅つき大会。(あんこ・からみ)</p>   |

|              |             |  |
|--------------|-------------|--|
|              |             | <p>③12月27日（火）から正月商品「根菜類の大量販売、地場産切り餅、のし餅、正月用切花」などの大量販売。</p> <p>④12月30日（金）・31日（土）年越し蕎麦の販売。（商業者手打ち蕎麦）</p>   |
| ◆12月度イベントの報告 |             | <p>※前記②餅つき大会は、実施できませんでしたがその他のイベントは、感染防止対策を行い実施しました。</p> <p>①12月27日～28日は会社、及び生産者組合会員協賛による歳末大抽選会を実施。</p> <p>②12月27日からお正月商品として野菜、切り花や生産者の餅は大変好評でした。</p> <p>③お餅や年越し蕎麦は事前予約販売も受け付け多くの注文が入りました。また当日も（餅、蕎麦）昨年同様販売しましたが待ちが出る程好評で全て完売でした。</p> |
| R5年1月        | ◎新春おしるこの振舞い | ①1月7日（第一土曜日）、生産者主導にて実施、（会社共賛）9：30～12：00迄。  |
|              | いちご祭り       | ①1月28日（土）、地元生産者、及び近隣生産者のいちごを限定販売、また商業者のいちごに関連したスイーツの販売。  |
| ◆1月度イベントの報告  |             | <p>①新春おしるこの振舞いは、生産者組合と協議しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止となりました。但しおしるこの振る舞いの代案で生産者組合と会社とで連携し、2,000円お買上げ金額ごと、1枚の抽選券を先着1,000枚発行し「新春お年玉抽選会」を実施しました。</p> <p>②いちご祭りでは5生産者と5商業者合わせて10件協力をいただき販売しました。スイーツは、大福・シュークリーム・サンド・お菓子を販売しました。</p>         |
| 2月           | いちご祭り       | ①2月25日（土）、地元生産者、及び近隣生産者のいちごを限定販売、又商業者のいちごに関連したスイーツの販売。   |
| ◆2月度イベントの報告  |             | ①1月同様に5生産者と5商業者合わせて10件の協力をいただき販売しました。スイーツは、大福・シュークリーム・サンド・お菓子を販売しました。  |
| 3月           | お彼岸ウイークセール  | <p>①商業者による、和菓子、おだんご、お供え物などの販売。</p> <p>②切り花（仏）の販売、生産者含む仕入品での対応。</p>   |
|              | いちご祭り       | ①3月25日（土）、地元生産者、及び近隣生産者のい  |

|             |  |
|-------------|--|
|             | ちごを限定販売、又商業者のいちごに関連したスイーツの販売。  |
| ◆3月度イベントの報告 | ①切り花（仏）生産者、及び地元生花店により販売しました。昨年同様好評でした。<br>②1月、2月同様に5生産者と3商業者併せて8件協力いただき販売しました。スイーツは、大福・シュークリーム・お菓子を販売しました。 |

※飲食を伴うイベントの実施に関しましては、新型コロナウイルス感染症の状況を関係機関含め確認、また行政のガイドラインに沿った対応にて実施「可・不可」の判断を行い運営にあたりました。

## 5. 第22期直売所事業売上計画

### ■第22期月別売上予算実績、及び前期比較

金額単位：千円

| 項目   | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 今期予算 | 21,700 | 21,700 | 22,400 | 16,500 | 21,000 | 21,500 |
| 今期実績 | 21,665 | 20,044 | 17,731 | 18,274 | 20,700 | 21,393 |
| 前期実績 | 22,503 | 20,553 | 18,785 | 17,262 | 21,748 | 23,224 |
| 増減   | ▲838   | ▲509   | ▲1,054 | 1,012  | ▲1,048 | ▲1,831 |
| 前期比較 | 96.2%  | 97.5%  | 94.4%  | 105.9% | 95.2%  | 92.1%  |
| 項目   | 10月    | 11月    | 12月    | R5/1月  | R5/2月  | R5/3月  |
| 今期予算 | 18,900 | 17,300 | 22,000 | 16,500 | 18,500 | 21,000 |
| 今期実績 | 19,681 | 16,716 | 21,345 | 20,015 | 17,119 | 21,045 |
| 前期実績 | 17,422 | 16,554 | 19,165 | 13,932 | 16,203 | 21,408 |
| 増減   | 2,259  | 162    | 2,180  | 6,083  | 916    | ▲363   |
| 前期比較 | 113.0% | 101.0% | 183.2% | 143.7% | 105.7% | 98/.3% |

### ■第22期売上予算、実績及び前期比較

金額単位：千円

| 項目      | 今期予算    | 今期売上実績  | 前期売上実績  | 前期対比   |
|---------|---------|---------|---------|--------|
| 上半期売上合計 | 124,800 | 119,807 | 124,075 | 96.6%  |
| 下半期売上合計 | 114,200 | 115,921 | 104,684 | 110.7% |
| 年間売上合計  | 239,000 | 235,728 | 228,759 | 103.0% |

## 6. 第22期年間来所者数状況

単位：人

| 今期来所者数 | 前期来所者数 | 増減  |
|--------|--------|-----|
| 185406 | 185221 | 185 |

### Ⅲ 外販事業（地産地消課）

#### ■第22期外販事業報告書

下記の事業運営方針に基づき実施しました。

#### 1. 事業の運営方針

町内学校給食の食材調達代行及び福祉関係施設への食材提供、他各企業団体へ地元農産物の安定供給に努めます。

#### 2. 事業の概要

- (1) 生産者年間作付け計画表を基に野菜生産状況の把握に努め、福祉施設への満足度の向上に努めました。
- (2) 安心、安全な食材を徹底的に吟味し、信頼関係の下で販売量の増大と収益の確保を目指し外販事業の確立に努めました。
- (3) 担い手生産者を中心とした地場野菜の商品確保、及び自社アグリ生産課との農産物生産体制の共有を図り取引先への安定供給に努めました。
- (4) 定期的に生産者の圃場確認の上、コミュニケーションを密にし、良質な地場野菜の納品を目指し信頼度の向上に努めました。
- (5) 町内買物難民地域貢献への支援と外販事業収益の拡大を心掛けました。

#### 3. 目標、及び実施、施策事項

|  |
|--|
| <p>(1) 新規生産者発掘の継続</p> <p>◆実施内容（手段と対策）</p> <p>①町内、町外の新規生産者宅へ直接訪問にて会員数の確保に努める。</p> <p>②近隣直売所の定期的なリサーチによる情報収集を含め、新規生産者の発掘。</p> <p>□目標値：年間3名以上組合員加入（商業者含む）</p>   |
| <p>(1) に関する報告</p> <p>第22期新規生産者入会状況</p> <p>・生産者内訳</p> <p>町内 農産物3名・商業者1名</p> <p>町外 農産物3名・商業者2名</p>   |
| <p>(2) 宮代町学校給食センターへの地場野菜供給量アップ</p> <p>◆実施内容（手段と対策）</p> <p>①定期的な宮代町学校給食センターとの献立計画に基づいたミーティングの実施</p> <p>②給食センターからの地場産野菜献立計画表に基づき新規就農者及び既存生産者へ数量の事前割り振り依頼をお願いすることにより、地場産比率のアップと生産者の収入安定に努める。</p> <p>③生産者の余剰野菜や新商品のサンプル提案の継続を行い納品量の増大と生産者の収入安定貢献に努める。</p> <p>④自社アグリ生産課と連携し、学校給食センターにおける主力品目を最大限対応出来る体制構築に努める。例えば（キャベツ、ブロッコリー）など。</p> |



⑤生産者野菜を取入れた献立の試食会を生産者含め給食センター協力の下実施、生産者の理解と食材に対する意識の向上を図る。

⑥地場産野菜の直接買いを行うことにより、供給量と地場産使用率のアップに努める。

□目標値：全体ミーティング最低年間2回

□目標値：試食会年間最低1回

□目標値：外販事業前年度納品額対比100%以上

## (2) に関する報告

①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全体のミーティング、試食会などは実施できませんでしたが、担当スタッフが給食センターへ出向き、センター長、及び栄養士さんと、旬の野菜や出荷量などの情報交換を行い地場産納品量拡販に努めました。

### ②主力商品納品量の状況

単位：kg

| No. | 商品名   | 今期   | 前期   | 増減    | 増減率    |
|-----|-------|------|------|-------|--------|
| 1   | キャベツ  | 830  | 1870 | ▲1040 | 44.4%  |
| 2   | キュウリ  | 1145 | 660  | 485   | 173.5% |
| 3   | 大根    | 1030 | 1175 | ▲145  | 87.7%  |
| 4   | 小松菜   | 510  | 1225 | ▲715  | 41.6%  |
| 5   | 人参    | 2470 | 1280 | 1190  | 193.0% |
| 6   | 長ネギ   | 2099 | 1655 | 444   | 126.8% |
| 7   | じゃがいも | 1425 | 590  | 835   | 241.5% |
| *   | 合計    | 9509 | 8455 | 1054  | 112.5% |

※前期と比較、(キャベツ、小松菜)に関しましては天候などによる不作、又年々高齢化が進み生産量が減っているのが現状です。今後は担い手、自社生産品含め生産量の拡大に努めます。

### ③月別販売実績額、及び前期比較

単位：千円

| 項目   | 4月       | 5月  | 6月  | 7月    | 8月    | 9月    | 上期計   |
|------|----------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|
| 今期実績 | 267      | 318 | 560 | 330   | 0     | 402   | 1,877 |
| 前期実績 | 165      | 282 | 317 | 292   | 0     | 440   | 1,496 |
| 項目   | 10月      | 11月 | 12月 | R5/1月 | R5/2月 | R5/3月 | 下半期   |
| 今期実績 | 323      | 482 | 430 | 512   | 708   | 319   | 2,774 |
| 前期実績 | 253      | 493 | 591 | 616   | 804   | 333   | 3,090 |
| *    | 今期通期実績合計 |     |     |       |       |       | 4,651 |
| *    | 前期通期実績合計 |     |     |       |       |       | 4,586 |

※販売額の確保に関しましては、生産者の農産物直接買いを行うなど、納品額、及び地場産率のアップを目指しました。

## (3) 新規販売先の拡大

### ◆実施内容(手段と対策)

①外売りイベントに積極的に参加し、(株)新しい村のPRと収益の向上。

②安定供給できる自社米の新規販売先の確保。

③買い物難民地域へ季節限定商品のカタログ販売。(当該地区の自治会への協力依頼)  
 □目標値：新規取引先年間一事業所確保

(3) についての報告

①例年実施している埼玉りそな銀行への外売りイベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止と降電被害による商品販売困難なため、中止にしました。

②宮代町内レストランにお米や野菜の納品を実施しました。(酒屋ビストロ fusafusa)

③チラシを年3回(10月・11月・12月)各1000部作成し宮代台・桃山台地区にポスティングを実施しました。利用頻度は低いですが今後も宮代町内を対象に継続して参ります。

#### 4. 第22期外販事業売上計画

##### ■第22期月別売上予算、実績及び前期比較

金額単位：千円

| 項目     | 4月     | 5月     | 6月     | 7月    | 8月     | 9月     |
|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 今期予算   | 900    | 11,00  | 1,200  | 1,500 | 1,300  | 1,400  |
| 今期実績   | 1,150  | 1,312  | 1,614  | 1,348 | 883    | 1,330  |
| 前期実績   | 1,094  | 1,213  | 1,258  | 1,338 | 802    | 1,438  |
| 前期比較増減 | 56     | 99     | 356    | 10    | 81     | ▲108   |
| 前期比較   | 105.1% | 108.2% | 128.3% | 50.7% | 110.1% | 92.5%  |
| 項目     | 10月    | 11月    | 12月    | R5/1月 | R5/2月  | R5/3月  |
| 今期予算   | 1,300  | 1,300  | 1,500  | 1,400 | 1,400  | 1,400  |
| 今期実績   | 1,382  | 1,531  | 1,534  | 1,403 | 1,592  | 1,244  |
| 前期実績   | 1,120  | 1,347  | 1,625  | 1,472 | 1,627  | 1,206  |
| 前期比較増減 | 262    | 184    | ▲91    | ▲69   | ▲35    | 38     |
| 前期比較   | 123.4% | 113.6% | 94.4%  | 95.3% | 97.9%  | 103.2% |

##### ■第22期売上予算、実績及び前期比較

金額単位：千円

| 項目      | 今期売上予算 | 今期売上実績 | 前期売上実績 | 前期対比   |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 上半期売上合計 | 7,400  | 7,637  | 7,144  | 105.0% |
| 下半期売上合計 | 8,300  | 8,687  | 8,397  | 103.5% |
| 年間合計    | 15,700 | 16,324 | 15,541 | 105.0% |

## IV 農業支援事業（アグリ生産課）

### ■第22期農業支援事業報告書

下記の事業運営方針に基づき実施しました。

#### 1. 事業の運営方針

- (1) 「農」のある環境を維持再生していくための農家に対する支援対策事業の継続に努めます。
- (2) 関係機関と連携を図り「農」のあるまちづくり政策に基づいた農業支援事業として、社内受入れ態勢の確立に努めています。
- (3) 自部門の増収増益を目指し、また森の市場「結」の課題である高齢化による農産物出荷量減少

の一部解消、及びその他関係施設へ安定供給を図るため、通年を通しての本格的な野菜生産拡大に努めました。

(4) 有効活用の一環として育苗用パイプハウスを農閑期、「春から秋」にかけ農家への貸し出しを実施、野菜生産での有効活用、及び自社直売所の活性化に努めました。

(5) 中長期的計画に基づき、今後発生すると思われる遊休圃場を農家支援の一環とし、社内個々の自己啓発を含め町との共有を図り、将来的に新しい村就農希望者の受け入れを視野に入れた取組みと、宮代町の「農」の活性化に向け、公募内容と受入れ体制の再確認を行った上で来期、実行に移したいと考えています。

(6) 稲作に関し、圃場を確定し、宮代ブランド米の試作と実用化に向けた販路の拡大に努めました。

## 2. 事業の概要

### (1) 農作業受託

① 自主事業の拡大に伴い、宮代町を中心に町との連携強化を図り、農地保全推進と共に収益の確保に努めました。

② 関係機関との連携、及び情報交換などにより農作業の一部を受託し作業効率を目指すと共に、農家支援と収益の確保に努めました。

③ 蕎麦2ha以上を目標に刈取り作業に向け、受託受け入れ体制の確立に努めました。

### ④ 第2期農作業受託状況、及び前期比較

金額単位：千円

| No. | 項目      | 農作業受託内容      | 今期予定  | 今期実績  | 前期実績  | 増減   |
|-----|---------|--------------|-------|-------|-------|------|
| 1   | 稲作、作業受託 | 春作業（耕耘田植え等）  | 800   | 526   | 777   | ▲251 |
| 2   | 稲作、作業受託 | 秋作業（刈取り乾燥調製） | 2,500 | 2,419 | 2,419 | 0    |
| 3   | 蕎麦、作業受託 | 刈取り・乾燥調製等    | 350   | 413   | 463   | ▲50  |
| 4   | その他受託   | 耕耘作業・草刈り等    | 1,050 | 877   | 973   | ▲96  |
| *   | 合計      |              | 4,700 | 4,235 | 4,632 | ▲397 |

### (2) 第2期水稲苗、育苗計画

① 育苗プラントキャパ最大限の水稲苗生産強化、及びホームページなど活用したPR活動による販売数量強化に努めました。

□ 水稲苗生産目標枚数30,000枚以上

□ 水稲苗生産予定枚数内訳（自社使用分2,900枚・販売28,000枚）

### ② 第2期2022年度水稲苗生産総数、販売枚数、及び前期比較

単位：枚

| No. | 項目     | 今期実績  | 前期実績  | 増減    | 前期比較   |
|-----|--------|-------|-------|-------|--------|
| 1   | 販売枚数   | 27478 | 29650 | ▲2172 | 92.7%  |
| 2   | 自社使用枚数 | 3146  | 2846  | 300   | 110.5% |
| *   | 合計     | 30624 | 32496 | ▲1872 | 94.2%  |

※特徴としまして、近年の水稲苗生産販売状況に関しまして、年々米生産農家の高齢化や後継者不足により、離農者、及び経営規模縮小農家が増加傾向にあり、今後の生産状況の内訳としましては、「自社使用は増加、農家への販売数」は減少傾向になると予測されます。

③第22期2022年水稻苗販売状況、及び前期比較

金額単位：千円

| No. | 項目       | 出芽苗   | 硬化苗    | 配達料 | 合計     |
|-----|----------|-------|--------|-----|--------|
| 1   | 今期販売実績   | 6,823 | 11,372 | 210 | 18,405 |
| 2   | 前期販売実績   | 6,952 | 13,220 | 220 | 20,392 |
| *   | 前期比較（増減） | ▲129  | ▲1,848 | ▲10 | ▲1,987 |

※今期予定金額の減少要因は、苗注文内訳で昨年度と比較しますと、出芽苗が多く硬化苗がやや少ない傾向にあります。

※今期も安心・安全な米作りに向け温湯消毒を実施しました。

(3) 稲作（作付け）計画

①第22期稲作計画に関しましては、令和2年度初旬から続いている新型コロナウイルス感染症拡大の影響により米の需要が減少し、過剰在庫になっています。現状米価格下落の影響と従来の大口径販売先の需要が激減している為、飼料用米の作付け比率を上げた計画で実施しました。作付け品種に関しましては、需要の高い「特別栽培米コシヒカリ」を中心に「特別栽培米彩のきずな」「特別栽培米ミルキーQueen」の作付けを行い、販路面では、ふるさと納税返礼品の食べ比べアイテムを取入れ拡販に努めました。

②今期も、「特別栽培米コシヒカリ」を中心に土づくりを行い、品質と収量の向上に努めました。

③新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、前年度さん米よりリスク分散を目的とし、一部の圃場に於いて飼料用米（品種名：武蔵野26号）の作付けを昨年度産米の約4倍強の作付けを計画しました。

④「彩のきずな」を原料とした自社オリジナルブランド酒造を、専門会社へ委託し、出来上がった製品販売に関しましては、森の市場「結」と共有し、同業種との差別化を図りました。

(酒造会社へ9月下旬新米、玄米にて600kg搬入)

⑤酒米「五百万石」の作付けを行い、宮代酒販組合との連携で銘柄「宮代そだち」の復活支援と直売所酒コーナーの充実に向け社内共有に努めました。

(宮代町野口酒店へ9月下旬新米、玄米にて1,020kg搬入)

⑥第22期2022年度産米品種別稲作及び収量目標

□主食用米収量目標450kg/10a（1反当たり7.5俵以上）

(2022年産主食用米収量実績1反当たり6.3俵)

□飼料用米収量目標510kg/10a（1反当たり8.5俵以上）

(2022年産飼料用米収量実績1反当たり6.8俵)

⑦第22期2022年度産収量実績、及び前期比較

| No. | 品種             | 今期実績 |       |        | 前期実績 |       |        |
|-----|----------------|------|-------|--------|------|-------|--------|
|     |                | 区画   | 実施面積  | 収穫数量   | 区画   | 実施面積  | 収穫数量   |
|     |                |      | 単位(a) | 単位30kg |      | 単位(a) | 単位30kg |
| 1   | 特別栽培米コシヒカリ     | 29   | 503   | 667    | 15   | 263   | 397    |
| 2   | 普通栽培米コシヒカリ     | 29   | 426   | 581    | 74   | 1277  | 2029   |
| 3   | 特別栽培米ミルキーQueen | 13   | 197   | 283    | 0    | 0     | 0      |

|   |            |     |      |      |     |      |      |
|---|------------|-----|------|------|-----|------|------|
| 4 | 特別栽培米彩のきずな | 15  | 205  | 156  | 15  | 224  | 306  |
| 5 | 満月もち       | 1   | 11   | 16   | 1   | 11   | 18   |
| 6 | 飼料用米       | 33  | 653  | 885  | 11  | 146  | 264  |
| * | 合計         | 120 | 1995 | 2588 | 116 | 1921 | 3014 |

⑧第22期2022年度産米販売実績、及び前期比較

金額単位：千円

| No. | 主な販売先          | 今期計画   |        | 今期実績   |        | 前期売上   |
|-----|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|     |                | 玄米30kg | 売上     | 玄米30kg | 売上     |        |
| 1   | 日本工業大学NITクリエイト | 550    | 3,300  | 263    | 2,012  | 2,088  |
| 2   | 森の市場「結」その他     | 950    | 6,175  | 1008   | 6,532  | 6,374  |
| 3   | ふるさと納税返礼品      | 500    | 3,000  | 318    | 1,925  | 1,533  |
| 4   | JA（主食用米）       | 0      | 0      | 0      | 0      | 57     |
|     | JA飼料用米（補助金雑収入） | 1,122  | 5,940  | 885    | 4,549  | 147    |
| 5   | 業者             | 0      | 0      | 0      | 0      | 6,946  |
| 6   | その他（満月もち、業者）   | 20     | 120    | 89     | 445    | 291    |
| *   | 合計             | 3,142  | 18,535 | 2563   | 15,463 | 17,436 |

※飼料用米に関し、関係機関への提出書類は決算書が適用されます。飼料用米代金は関東農政局からの補助金となるため、4,549千円は雑収入の一部に計上してありますが社内で実際の米収穫量を確認する為第22期の報告、23期の計画では、飼料用米は米の売上として計上しました。

コロナ禍前は、（ふるさと納税返礼品約5,400千円、日本工業大学4,800千円）の販売金額があり、今現在約38%の回復となっています。

※ふるさと納税返礼品に関しましては、村育ちコシヒカリの販売強化策としまして、今期も前期同様（20kg/1オーダー）の格安お買得アイテムを継続し予定販売量の目標達成に努めると共に今期より新たな試みとしまして、2品種（特別栽培米コシヒカリ、特別栽培米ミルクQueen）の食べ比べアイテムを導入し予定数量の確保と収益の安定に努めました。またふるさと納税返礼品を含め、複数のインターネットでの販売チャレンジも継続しています。

(4) 蕎麦（作付け）計画

①2022年度産におきましては、最近のそば粉需要が減少傾向にあり販売面で苦戦していることから、実態を視野に入れ最大で「2区画4,400㎡、目標収穫量279kg」を予定とし、受託先からの買取りを含め売上予定金額350千円を目標としました。

□第22期蕎麦実績、及び昨年比較状況

金額単位：千円

| 項目 | 面積    | 収穫量 (kg)  | 売上額 |
|----|-------|-----------|-----|
| 今期 | 4400㎡ | 313（買取含む） | 413 |
| 前期 | 4400㎡ | 279       | 368 |
| 増減 | 0     | 34        | 45  |

## (5) 農産物生産計画

①米収益減を補うための手段としまして、育苗ハウスを有効活用し、農閑期である秋口から暖房器具を使用した抑制栽培による果菜類（トマト）の生産を行い、直売所への販売や観光事業と連携し収穫体験を実施するなど、自主事業による収益の確保にチャレンジしました。

②今後予想される中長期的農産物流通変化に対応すべく手段としまして、今期で自社野菜生産4年目を迎え果菜類の品種も徐々に増やし、宮代町の政策である地産地消の推進を図り、部門内収益向上に努めました。（例えば、トマト、キュウリなど）

③農産物生産予定に関しましては、自社内販路、森の市場「結」向けが基本で、過剰品は積極的に他社施設へ販売し、収益の向上を目指しました。また地場野菜の学校給食への供給を森の市場「結」と連携し、販売強化に努めました。（キャベツ、さつまいも、人参など）

④中長期的計画に基づき、今後発生すると思われる遊休農地を農家支援の一環とし、事業部内スタッフが個々の自己啓発を含め町との共有を図り、今後冒頭アグリ生産課事業の運営方針（5）に記載した内容で進めていきたいと思えます。

⑤直接販売やインターネットによる販売など、時流に沿った多様な販売経路の構築を行うことで、収益と雇用の拡大に努める様心掛けました。

### ⑥第2期主力野菜生産予定額、実績、及び前期実績

金額単位：千円

| No. | 作物名    | 収穫時期             | 今期予定  | 今期実績  | 前期実績  |
|-----|--------|------------------|-------|-------|-------|
| 1   | トウモロコシ | 6月中旬～8月上旬        | 1,000 | 0     | 660   |
| 2   | ブロッコリー | 10月上旬～           | 550   | 611   | 414   |
| 3   | サニーレタス | 5月上旬～            | 350   | 322   | 374   |
| 4   | エダマメ   | 6月中旬～            | 600   | 0     | 436   |
| 5   | ジャガイモ  | 5月下旬～            | 400   | 203   | 249   |
| 6   | キャベツ   | 10月上旬～           | 500   | 765   | 828   |
| 7   | サツマイモ  | 11月上旬～           | 600   | 382   | 317   |
| 8   | トマト    | 6月中旬～            | 800   | 187   | 233   |
| 9   | その他    | 葉菜類等副作・・周年他（加工品） | 200   | 1,383 | 1,146 |
| *   | 合計     |                  | 5,000 | 3,853 | 4,657 |

※6月3日の降雹被害により夏野菜に向け定植したトウモロコシ、エダマメ、キャベツ、ブロッコリーは全壊となり、急遽夏野菜の生産品目の見直しと、秋野菜の軌道修正を行い販売にあたり上記の売上を確保することが、出来ました。主力以外その他売上には、（学校給食センター、他約12品目）の売上が含まれています。

### 3. 第2期アグリ生産課全体収益状況、及び前期比較

単位：千円

| No. | 項目    | 内訳         | 今期予算   | 今期売上   | 前期売上   | 増減     |
|-----|-------|------------|--------|--------|--------|--------|
| 1   | 農作業受託 | 稲作・蕎麦（その他） | 4,700  | 4,235  | 4,632  | ▲397   |
| 2   | 水稻苗育苗 | 出芽苗・硬化苗    | 20,240 | 18,405 | 20,393 | ▲1,988 |
| 3   | 村管理生産 | 稲作         | 18,535 | 15,463 | 17,419 | ▲1,956 |

|   |       |       |        |        |        |        |
|---|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 4 | 村管理生産 | 蕎麦    | 350    | 413    | 368    | 45     |
| 5 | 野菜生産  | 野菜全般  | 5,000  | 3,853  | 4,657  | ▲804   |
| 6 | その他   | くず米、他 | 0      | 194    | 224    | ▲30    |
| * | 合計    |       | 48,825 | 42,563 | 47,693 | ▲5,130 |

※稲作、米売上に関しましては前記⑧米販売実績で記載した通り飼料用米の補助金は本来勘定科目の雑収入に計上すべきですが、社内資料用として米売上に含まれています

## V グリーンツーリズム事業（総務・経理）

### ■第22期グリーーツーリズム、及び（総務・経理）事業報告書

下記の事業運営方針に基づき実施しました。

#### 1. 事業の運営方針

- (1) 幅広い分野で様々な情報を活用したグリーンツーリズム事業を展開することにより、都市住民との交流を積極的に図り地域の活性化に努めます。
- (2) 「農」のあるまちづくりの理念を広く浸透させていくため、新しい村の持つ自然環境の施設を活かした様々な生涯学習活動の展開に努めます。

#### 2. 事業の概要

##### (1) 事業展開のポイント

- ①幅広い年代の方が参加できる様な様々な企画提案に努めました。
- ②「農」のあるまちづくりの理念を浸透させる農業体験の実施に努めました。
- ③園内のほっつけ田を最大限に活用し、観光事業とした集客に努めました。
- ④町内の活性化のため、町内商工業者や企業と連携し幅広い講座の企画と、情報収集で得られた企画を取入れ村の集会所の稼働率アップを目指し施設の活性化に努めました。
- ⑤森の市場「結」で販売している地元農産物等を活用した講座を実施することで地産地消の推進に努めました。
- ⑥専門企業と連携し、ハーブの旬な情報提供と商品の販売を行いつつ、ハーブのある暮らしの提案と講座などを通じハーブ人口の拡大に努めました。

##### (2) 売上計画

##### ①第22期売上計画、及び実績報告

金額単位：千円

| * | 今期売上予算 | 今期売上実績 | 前期売上実績 | 増減  | 前期比    |
|---|--------|--------|--------|-----|--------|
|   | 6,300  | 6,326  | 6,150  | 176 | 102.9% |

#### 3. 第22期の目標及び実施、施策事項

##### (1) 集落農園「結の里」利用促進の継続

##### ◆実施内容（手段と対策）

- ①『集落農園「結の里」』の利用促進を図り継続的に利用率アップに努める。
- ②利用者のPR活動など情報発信を行い利用率の促進に努める。

□目標値：90%以上「全72区画中、67区画以上の稼働」

### (1) に関する報告

- ①農園の利用率は継続的に100%となりました。
- ②「結の里」会員による勉強会・懇親会を開催し「結」の精神に基づいた利用促進を行いました。
- ③目標値90%以上に対し、実績値は100%でした。

### (2) ほっつけ田・稲刈り体験の実施

#### ◆実施内容（手段と対策）

①ほっつけ田は、田植え及び稲刈り体験が出来る様年間を通じて適正な管理を行い町内小学校や食育活動に取り組んでいる「企業、都内保育園、都内小学校、一般募集」を対象に稲作体験を実施、またほっつけ田では今期特別栽培米の稲作にチャレンジします。

□目標値：年間14回以上・延べ参加者700人以上

※実施時期：「5月、6月、9月、10月」

### (2) に関する報告

#### ①稲作体験状況

- ・今期は新型コロナウイルス感染対策を行いながら開催しました。
- ・「農」のあるまちづくりの理念を浸透させる農業体験を実施しました。
- ・稲刈りと、ぬか釜ご飯をセットにした企画を開催し集客に繋がりました。
- ・町内の全小学校では、小学校毎に食育学習を実施しました。
- ・食育活動に取り組んでいる「保育園、企業団体の他、和食専門学校」校外授業としての実施も行いました。

#### ■稲作体験実施内容

| イベント名称   | 年間目標値  | 年間実績値 | 増減    |
|----------|--------|-------|-------|
| ・田植え体験   | 14回以上  | 14回   | 18回   |
| ・稲刈り体験   |        | 18回   |       |
| ・延べ参加者人員 | 700人以上 | 2202人 | 1502人 |

※内訳（企業他1682名・町内小学校260名2回）

### (3) 農業体験の実施

#### ◆実施内容（手段と対策）

##### ①ブルーベリーの摘みとり体験

□目標値 345人以上

##### ②野菜の収穫体験。（じゃがいも・さつまいも）

□目標値：延べ参加者500人以上

※実施時期：じゃがいも6月・さつまいも11月

##### ③農作業を取り入れた婚活事業。

□目標値：年間6回・参加人員予定198人以上

### (3) に関する報告

#### ①ブルーベリー摘みとり体験

- ・6月3日に発生した降雹被害によりイベント中止となりました。

#### ②野菜収穫体験



- ・じゃがいもほりは6月3日に発生した降雷被害によりイベント中止となりました。
  - ・さつまいもほりは降雷被害で植え直しをした一部の収穫体験を実施しました。(5回231名)
- ③農作業を取り入れた婚活事業
- ・農作業を取り入れた婚活事業は、新型コロナウイルス感染症による参加者減少のため、未開催となりました。

■農業体験実施内容

| イベント名称         | 目標値        | 実績値  | 備考      |
|----------------|------------|------|---------|
| ・ブルーベリー摘み取り体験  | 延べ345人以上   | 0人   | 降雷被害    |
| ・じゃがいも堀り体験     | 延べ500人以上   | 0人   | 合計231人  |
| ・さつまいも堀り体験     |            | 231人 |         |
| ・農作業を取り入れた婚活事業 | 年6回・180人以上 | 年・0人 | コロナ禍の影響 |

※全イベント開催に関し、新型コロナウイルス感染症防止対策をとり実施しました。

(4)「農」のあるまちづくり講座

◆実施内容(手段と対策)

- ①森の市場「結」で販売している地場産野菜や新しい村施設内で栽培しているハーブ・野菜などをPRする料理講座の実施。
- 目標値：年間6回延べ人数60人以上
- ②1年を通じて農体験を総合的に楽しめる講座。
- 目標値：年間4回以上延べ人数36人以上
- ③ハーブを使用した講座。
- 目標値：年間6回延べ人数60人以上
- ④ハーブや新しい村の自然環境を生かした6次化商品の開発。
- 目標値：年間4品、ジャム10種類以上

(4) に関する報告

- ① 森の市場「結」で販売している地場産野菜や新しい村施設内で栽培しているハーブ・野菜等をPRする料理講座の実施
- ・ほっつけ米を使用した料理講座を開催しました。
  - ・地場産野菜やハーブを使用した料理講座を開催しPRしました。
- ② 1年を通じて農体験を総合的に楽しめる講座
- ・稲作や野菜収穫など年6回に及ぶ農体験を開催し、お米を収穫してから食するまでの工程を学ぶなど、農を楽しみながら学ぶ講座を行いました。
- ③ ハーブを使用した講座
- ・ハーブ園のハーブを実際に摘み取り、リースやハーブソルト作り講座を開催しました。
- ④ ハーブや新しい村の自然環境を生かした6次化商品の開発
- ・ハーブ園のハーブを自社内で加工し販売しました。またイタリアレストラン経営店へハーブを販売することが出来ました。
  - ・町内産の果物を使用した手作りジャムやアグリ生産課で栽培したトマトを使ったジャムを販売しました。また、地域連携で越生町の柚子組合長の柚子とコラボ商品「柚子ジャム」を販売しました。

■「農」のあるまちづくり年間講座実施内容

| 項目    | 目標値回数  | 目標延べ人数 | 実績値回数 | 実績延べ人数 |
|-------|--------|--------|-------|--------|
| ①に関して | 6回     | 60人以上  | 11回   | 70人    |
| ②に関して | 4回     | 36人    | 6回    | 198人   |
| ③に関して | 6回     | 60人以上  | 10回   | 99人    |
| ④に関して | 種類・ハーブ | 4品以上   | 4品    |        |
|       | 種類・ジャム | 10種類以上 | 14種類  |        |

□ハーブ「コモンマロー&ミントティー・バタフライピーのハーブティ・ハロウィンラベンダー・シモングラスのしめ飾り・ハーブクッキー」

□ジャム加工品種類「ブルーベリー・いちご・夏みかん・キウイ・レモン・はっさく・梨・いちじく・柚子・ルバーブ・3種のベリー・ブドウ・柚子レモン・トマト」

(5) 集会所の稼働率アップ

◆実施内容（手段と対策）

①講座アイテムの誘致、例「親子参加企画、専門的分野の映写会、他企業講座」などの情報収集、及び自社独自の講座、アグリ事業部門「野菜講座」、観光事業部門「ハーブ講座、ジャム作り講座」など。

□目標値：従来講座プラス、町づくり新規講座含む120%（但しコロナ禍収束後本格的募集）

(5) に関する報告

①Wi-Fiの設置。

②SNSや農の家イベント紙にての情報提供。

(6) 総務・経理

◆実施内容（手段と対策）

①ホームページの整理、及び更新【総合管理事項】

□目標値：1ヶ月毎、施設全体の情報ページチェック、常に新しい村施設全体の情報発信の励行。

②月次損益決定数値の現状課題とスピード化。

□目標値：当月締め翌月末日作成

③各事業部への伝達事項の明確化及び部門間情報共有の確認

(6) に関する報告

①の実績値内容。

・ホームページリニューアル実施（今期3月リニューアル）

②の実績値・最短の損益を社内で以前より早く確認出来る様になりました。

③の実績値・社員定例会議や、日常業務の範囲で全部門への確かな通達を行いました。

※体験事業、及び講座などのイベントに関しましては、新型コロナウイルス感染状況により（可、不可）の判断を致しました。

#### 4. 第22期実施、施策実績、及び前期比較

##### ■実施、施策収益目標額、及び前期比較内訳実

金額単位：千円

| □事業項目                 | □内容                          | 今期予定  | 今期実績  | 前期実績  |
|-----------------------|------------------------------|-------|-------|-------|
| 1. 集落農園「結の里」<br>利用の促進 | ①市民農園「結の里」利用料金               | 890   | 907   | 915   |
| 2. ほっつけ田植・稲<br>刈り体験   | ①田植え・稲刈り（小学校）<br>②ほっつけ米の販売含む | 2,200 | 2,563 | 1,868 |
| 3. 農業体験               | ①ブルーベリー摘みとり体験・販売             | 360   | 2     | 406   |
|                       | ②野菜収穫体験・販売                   | 190   | 111   | 227   |
|                       | ③畑で婚カツ                       | 600   | 0     | 90    |
| 4. 「農」のあるまちづ<br>くり講座  | ①料理講座                        | 130   | 222   | 64    |
|                       | ②1年を通じた農体験講座                 | 600   | 437   | 752   |
|                       | ③ハーブ講座                       | 130   | 356   | 22    |
|                       | ④6次化商品開発                     | 450   | 355   | 429   |
|                       | ⑤その他講座                       | 250   | 139   | 288   |
| 5. その他                | ①施設の備品貸出し・ハーブ苗・<br>イベントなど    | 500   | 1,234 | 1,089 |
| 合計                    |                              | 6,300 | 6,326 | 6,150 |

## VI 施設総合管理

### ■年間スケジュールに沿って実施しました。

#### 1. 第22期年間スケジュール表

| No. | □管理業務内容      | 4月  | 5月  | 6月  | 7月   | 8月   | 9月   |
|-----|--------------|-----|-----|-----|------|------|------|
| 1   | 草刈作業         | ●   | ●   | ●   | ●    | ●    | ●    |
| 2   | 施設修繕         | ●   | ●   | ●   | ●    | ●    | ●    |
| 3   | 消防点検         |     |     |     |      |      | ●    |
| 4   | 浄化槽点検・清掃（定期） |     |     | ●   |      |      | ●    |
| 5   | 浄化槽法定点検      |     |     |     |      |      |      |
| 6   | 電気設備点検（定期）   | ●   |     | ●   |      | ●    |      |
| 7   | 電気設備点検（年1回）  |     |     | ●   |      | ●    |      |
| 8   | 害虫駆除         | ●   | ●   | ●   | ●    | ●    | ●    |
| 9   | 特別清掃         |     |     |     | ●    |      |      |
| No. | □管理業務内容      | 10月 | 11月 | 12月 | R/1月 | R/2月 | R/3月 |
| 1   | 草刈作業         | ●   | ●   |     |      |      |      |
| 2   | 施設修繕         | ●   | ●   | ●   | ●    | ●    | ●    |

|   |              |   |   |   |  |   |   |
|---|--------------|---|---|---|--|---|---|
| 3 | 消防点検         |   |   |   |  |   | ● |
| 4 | 浄化槽点検・清掃（定期） |   |   | ● |  |   | ● |
| 5 | 浄化槽法定点検      |   |   |   |  |   | ● |
| 6 | 電気設備点検（定期）   | ● |   | ● |  | ● |   |
| 7 | 電気設備点検（年1回）  |   |   |   |  |   |   |
| 8 | 害虫駆除         | ● | ● |   |  |   |   |
| 9 | 特別清掃         |   |   |   |  | ● |   |

※自然環境の保全と園内の美化に努め、来園者の安全確保と癒しの空間作りを目指しました。

## Ⅶ 第22期各事業部収益計画

金額単位：千円

| 項目  | 勘定科目                    | 収益計画    | 実績      | 増減      |
|-----|-------------------------|---------|---------|---------|
| 売上高 | カフェ事業（地産地消課）            | 10,700  | 10,762  | 62      |
|     | 直売所事業（地産地消課）レジ通過売上      | 239,000 | 235,728 | ▲3,272  |
|     | 外販事業（地産地消課）             | 15,700  | 16,324  | 624     |
|     | 農業支援事業（アグリ生産課）資料米含む     | 48,825  | 42,563  | ▲6,262  |
|     | 観光事業（総務・経理課）            | 6,300   | 6,326   | 26      |
|     |                         | 事業部計    | 320,525 | 311,703 |
| *   | 売上総損益金額 指定管理料営業外収益、費用含む | 141,572 | 152,715 | 11,143  |
| *   | 販売費及び一般管理費合計            | 137,000 | 149,885 | 12,885  |
| *   | 経常損益金額                  | 4,572   | 2,830   | ▲1,742  |

※記載しました各事業収益計画表は、社内用として、「直売所、外販部門の売上はPOSレジデータを売上として計上してあります。またアグリ生産課飼料用米は米売上として計上、同じく販売費、一般管理費は事業部全体の販売費、及び一般管理費にて計上しました。 ※各関係者、及び関係機関への提出用決算書類は、税理士事務所で作成されたものが全て適用になります。

以上

# 決 算 報 告 書

(第 22 期)

自 令和 4 年 4 月 1 日  
至 令和 5 年 3 月 31 日

株 式 会 社 新 し い 村

埼玉県南埼玉郡宮代町字山崎 777 番地 1

## 貸借対照表

株式会社 新しい村

【資産の部】

令和 5年 3月31日 現在

単位：円

| 科 目               | 当 期                  | 前 期                  | 差 額                  | 前 期<br>対 比   |
|-------------------|----------------------|----------------------|----------------------|--------------|
| <b>【流動資産】</b>     | <b>【 80,385,764】</b> | <b>【 78,776,160】</b> | <b>【 1,609,604】</b>  | <b>102.0</b> |
| 現 金               | 1,459,680            | 1,818,326            | △358,646             | 80.3         |
| 預 金               | 52,388,066           | 53,016,193           | △628,127             | 98.8         |
| 売 掛 金             | 7,067,713            | 5,275,356            | 1,792,357            | 134.0        |
| 商 品               | 7,448,241            | 6,489,880            | 958,361              | 114.8        |
| 原 材 料             | 53,924               | 79,312               | △25,388              | 68.0         |
| 仕 掛 品             | 7,914,153            | 6,966,645            | 947,508              | 113.6        |
| 貯 蔵 品             | 890,506              | 1,091,330            | △200,824             | 81.6         |
| 前 渡 金             | 2,941,696            | 2,468,792            | 472,904              | 119.2        |
| 仮 払 金             | 50,590               | 342,853              | △292,263             | 14.8         |
| 未 収 入 金           | 171,195              | 1,227,473            | △1,056,278           | 13.9         |
| <b>【固定資産】</b>     | <b>【 33,892,890】</b> | <b>【 36,518,330】</b> | <b>【 △2,625,440】</b> | <b>92.8</b>  |
| <b>(有形固定資産)</b>   | <b>( 32,337,961)</b> | <b>( 34,680,981)</b> | <b>( △2,343,020)</b> | <b>93.2</b>  |
| 建 物               | 52,205,668           | 52,205,668           |                      | 100.0        |
| 減価償却累計額           | △34,030,006          | △32,122,057          | △1,907,949           | 105.9        |
| 建物附属設備            | 6,558,286            | 6,558,286            |                      | 100.0        |
| 減価償却累計額           | △6,165,957           | △5,982,019           | △183,938             | 103.1        |
| 構 築 物             | 13,938,745           | 13,938,745           |                      | 100.0        |
| 減価償却累計額           | △10,271,485          | △9,737,678           | △533,807             | 105.5        |
| 機 械 装 置           | 64,731,264           | 62,179,499           | 2,551,765            | 104.1        |
| 減価償却累計額           | △57,801,839          | △55,514,451          | △2,287,388           | 104.1        |
| 車 両 運 搬 具         | 8,648,254            | 8,648,254            |                      | 100.0        |
| 減価償却累計額           | △8,648,241           | △8,474,160           | △174,081             | 102.1        |
| 工 具 器 具 備 品       | 20,695,928           | 19,617,755           | 1,078,173            | 105.5        |
| 減価償却累計額           | △17,642,550          | △16,636,861          | △1,005,689           | 106.0        |
| 一 括 償 却 資 産       | 119,894              |                      | 119,894              |              |
| <b>(無形固定資産)</b>   | <b>( 772,065)</b>    | <b>( 772,065)</b>    |                      | <b>100.0</b> |
| 電 話 加 入 権         | 772,065              | 772,065              |                      | 100.0        |
| <b>(投資その他の資産)</b> | <b>( 782,864)</b>    | <b>( 1,065,284)</b>  | <b>( △282,420)</b>   | <b>73.5</b>  |
| 出 資 金             | 223,900              | 223,900              |                      | 100.0        |
| 保 険 積 立 金         | 558,964              | 841,384              | △282,420             | 66.4         |
| <b>資 産 合 計</b>    | <b>114,278,654</b>   | <b>115,294,490</b>   | <b>△1,015,836</b>    | <b>99.1</b>  |

## 貸借対照表

株式会社 新しい村

【負債・純資産の部】

令和 5年 3月31日 現在

単位：円

| 科 目                    | 当 期                  | 前 期                  | 差 額                  | 前 期<br>対 比   |
|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|--------------|
| <b>【流 動 負 債】</b>       | <b>【 34,293,930】</b> | <b>【 33,674,068】</b> | <b>【 619,862】</b>    | <b>101.8</b> |
| 買 掛 金                  | 8,451,329            | 7,542,996            | 908,333              | 112.0        |
| 未 払 金                  | 19,644,442           | 16,773,124           | 2,871,318            | 117.1        |
| 未 払 費 用                | 3,961,004            | 3,428,892            | 532,112              | 115.5        |
| 未 払 法 人 税 等            | 129,000              | 35,000               | 94,000               | 368.6        |
| 預 り 金                  | 682,555              | 685,756              | △3,201               | 99.5         |
| 仮 受 金                  | 500                  | 6,500                | △6,000               | 7.7          |
| 未 払 事 業 税 等            | 20,100               |                      | 20,100               |              |
| 未 払 消 費 税 等            | 1,405,000            | 5,201,800            | △3,796,800           | 27.0         |
| <b>【固 定 負 債】</b>       | <b>【 3,964,000】</b>  | <b>【 5,815,000】</b>  | <b>【 △1,851,000】</b> | <b>68.2</b>  |
| 長 期 借 入 金              | 3,964,000            | 5,815,000            | △1,851,000           | 68.2         |
| <b>負 債 合 計</b>         | <b>38,257,930</b>    | <b>39,489,068</b>    | <b>△1,231,138</b>    | <b>96.9</b>  |
| <b>【株 主 資 本】</b>       | <b>【 76,020,724】</b> | <b>【 75,805,422】</b> | <b>【 215,302】</b>    | <b>100.3</b> |
| 資 本 金                  | 5,000,000            | 5,000,000            |                      | 100.0        |
| (利 益 剰 余 金)            | ( 71,170,724)        | ( 70,955,422)        | ( 215,302)           | 100.3        |
| その他利益剰余金               | 71,170,724           | 70,955,422           | 215,302              | 100.3        |
| 別 途 積 立 金              | 43,000,000           | 43,000,000           |                      | 100.0        |
| 繰 越 利 益 剰 余 金          | 28,170,724           | 27,955,422           | 215,302              | 100.8        |
| 自 己 株 式                | △150,000             | △150,000             |                      | 100.0        |
| <b>純 資 産 合 計</b>       | <b>76,020,724</b>    | <b>75,805,422</b>    | <b>215,302</b>       | <b>100.3</b> |
| <b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b> | <b>114,278,654</b>   | <b>115,294,490</b>   | <b>△1,015,836</b>    | <b>99.1</b>  |

# 損益計算書

株式会社 新しい村

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

単位：円

| 科 目                        | 当 期                   | 前 期                   | 差 額                 | 前 期<br>対 比   |
|----------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|--------------|
| <b>【売 上 高】</b>             | <b>【 206,381,564】</b> | <b>【 201,904,894】</b> | <b>【 4,476,670】</b> | 102.2        |
| 売 上 高                      | 131,593,616           | 118,834,019           | 12,759,597          | 110.7        |
| 委 託 料 収 入                  | 30,348,826            | 29,227,007            | 1,121,819           | 103.8        |
| 農 園 交 流 売 上 高              | 6,327,014             | 6,150,458             | 176,556             | 102.9        |
| 農 業 法 人 売 上 高              | 38,112,108            | 47,693,410            | △9,581,302          | 79.9         |
| <b>【売 上 原 価】</b>           | <b>【 115,366,609】</b> | <b>【 109,955,614】</b> | <b>【 5,410,995】</b> | 104.9        |
| 期 首 棚 卸 高                  | 6,569,192             | 9,603,094             | △3,033,902          | 68.4         |
| 仕 入 高                      | 69,096,954            | 59,317,773            | 9,779,181           | 116.5        |
| 当 期 製 品 製 造 原 価            | 47,202,628            | 47,603,939            | △401,311            | 99.2         |
| 期 末 棚 卸 高                  | △7,502,165            | △6,569,192            | △932,973            | 114.2        |
| <b>売 上 総 利 益 金 額</b>       | <b>91,014,955</b>     | <b>91,949,280</b>     | <b>△934,325</b>     | <b>99.0</b>  |
| <b>【販売費及び一般管理費】</b>        | <b>【 102,682,039】</b> | <b>【 99,315,262】</b>  | <b>【 3,366,777】</b> | 103.4        |
| <b>営 業 損 失 金 額</b>         | <b>△11,667,084</b>    | <b>△7,365,982</b>     | <b>△4,301,102</b>   | <b>158.4</b> |
| <b>【営 業 外 収 益】</b>         | <b>【 14,526,736】</b>  | <b>【 9,707,215】</b>   | <b>【 4,819,521】</b> | 149.6        |
| 受 取 利 息                    | 570                   | 613                   | △43                 | 93.0         |
| 受 取 配 当 金                  | 2,339                 | 2,339                 |                     | 100.0        |
| 雑 収 入                      | 14,523,827            | 9,704,263             | 4,819,564           | 149.7        |
| <b>【営 業 外 費 用】</b>         | <b>【 29,317】</b>      | <b>【 51,649】</b>      | <b>【 △22,332】</b>   | 56.8         |
| 支 払 利 息 割 引 料              | 24,444                | 38,986                | △14,542             | 62.7         |
| 雑 損 失                      | 4,873                 | 12,663                | △7,790              | 38.5         |
| <b>経 常 利 益 金 額</b>         | <b>2,830,335</b>      | <b>2,289,584</b>      | <b>540,751</b>      | <b>123.6</b> |
| <b>【特 別 損 失】</b>           | <b>【 2,465,375】</b>   | <b>【 1,627,337】</b>   | <b>【 838,038】</b>   | 151.5        |
| 固 定 資 産 圧 縮 損              | 2,465,375             | 1,627,337             | 838,038             | 151.5        |
| <b>税 引 前 当 期 純 利 益 金 額</b> | <b>364,960</b>        | <b>662,247</b>        | <b>△297,287</b>     | <b>55.1</b>  |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税      | 149,658               | 70,000                | 79,658              | 213.8        |
| <b>当 期 純 利 益 金 額</b>       | <b>215,302</b>        | <b>592,247</b>        | <b>△376,945</b>     | <b>36.4</b>  |



## 販売費及び一般管理費

株式会社 新しい村

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

単位：円

| 科 目        | 当 期                | 前 期               | 差 額              | 前 期<br>対 比   |
|------------|--------------------|-------------------|------------------|--------------|
| 役 員 報 酬    | 4,788,000          | 4,588,500         | 199,500          | 104.3        |
| 給 与 手 当    | 19,899,605         | 21,398,594        | △1,498,989       | 93.0         |
| 雑 給        | 27,398,825         | 22,338,012        | 5,060,813        | 122.7        |
| 賞 与        | 1,590,608          | 3,871,074         | △2,280,466       | 41.1         |
| 支 払 報 酬    | 180,000            | 172,500           | 7,500            | 104.3        |
| 法 定 福 利 費  | 6,082,780          | 6,127,249         | △44,469          | 99.3         |
| 福 利 厚 生 費  | 769,360            | 548,637           | 220,723          | 140.2        |
| 外 注 費      | 3,386,361          | 4,637,623         | △1,251,262       | 73.0         |
| 旅 費 交 通 費  | 1,063,033          | 951,464           | 111,569          | 111.7        |
| 通 信 費      | 1,083,533          | 921,386           | 162,147          | 117.6        |
| 交 際 費      | 410,198            | 352,320           | 57,878           | 116.4        |
| 減 価 償 却 費  | 3,342,692          | 3,573,055         | △230,363         | 93.6         |
| 賃 借 料      | 56,664             | 56,664            |                  | 100.0        |
| 保 険 料      | 702,440            | 703,790           | △1,350           | 99.8         |
| 修 繕 費      | 3,502,728          | 2,515,679         | 987,049          | 139.2        |
| 水 道 光 熱 費  | 6,677,534          | 5,032,738         | 1,644,796        | 132.7        |
| 燃 料 費      | 599,140            | 460,554           | 138,586          | 130.1        |
| 消 耗 品 費    | 4,417,728          | 4,231,071         | 186,657          | 104.4        |
| 租 税 公 課    | 558,500            | 487,750           | 70,750           | 114.5        |
| 運 賃        | 270,147            | 53,571            | 216,576          | 504.3        |
| 荷 造 包 装 費  | 1,197,952          | 962,515           | 235,437          | 124.5        |
| 事 務 用 品 費  | 148,495            | 155,624           | △7,129           | 95.4         |
| 広 告 宣 伝 費  | 1,808,836          | 2,603,858         | △795,022         | 69.5         |
| 支 払 手 数 料  | 2,422,037          | 2,122,640         | 299,397          | 114.1        |
| 諸 会 費      | 76,400             | 76,400            |                  | 100.0        |
| 新 聞 函 書 費  | 66,280             | 66,280            |                  | 100.0        |
| リ ー ス 料    | 4,276,800          | 4,436,400         | △159,600         | 96.4         |
| 会 議 費      | 36,238             | 12,196            | 24,042           | 297.1        |
| イ ベ ン ト 費  | 83,592             | 13,385            | 70,207           | 624.5        |
| 寄 付 金      | 3,911              |                   | 3,911            |              |
| 廃 棄 処 分 費  | 125,356            | 61,092            | 64,264           | 205.2        |
| 雑 費        | 5,656,266          | 5,782,641         | △126,375         | 97.8         |
| <b>合 計</b> | <b>102,682,039</b> | <b>99,315,262</b> | <b>3,366,777</b> | <b>103.4</b> |

# 製造原価報告書

株式会社 新しい村

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

単位：円

| 科 目                | 当 期                  | 前 期                  | 差 額                  | 前 期<br>対 比   |
|--------------------|----------------------|----------------------|----------------------|--------------|
| <b>【材 料 費】</b>     | <b>【 6,081,748】</b>  | <b>【 7,447,482】</b>  | <b>【 Δ1,365,734】</b> | <b>81.7</b>  |
| 主 要 材 料 費          | 6,081,748            | 7,447,482            | Δ1,365,734           | 81.7         |
| <b>【労 務 費】</b>     | <b>【 27,593,206】</b> | <b>【 28,457,624】</b> | <b>【 Δ864,418】</b>   | <b>97.0</b>  |
| 賃 金 給 料            | 15,075,965           | 13,568,418           | 1,507,547            | 111.1        |
| 雑 給                | 8,112,998            | 9,475,896            | Δ1,362,898           | 85.6         |
| 賞 与                | 796,380              | 1,826,476            | Δ1,030,096           | 43.6         |
| 法 定 福 利 費          | 3,150,298            | 3,110,332            | 39,966               | 101.3        |
| 福 利 厚 生 費          | 457,565              | 476,502              | Δ18,937              | 96.0         |
| <b>【外 注 加 工 費】</b> | <b>【 1,943,478】</b>  | <b>【 1,874,513】</b>  | <b>【 68,965】</b>     | <b>103.7</b> |
| 外 注 加 工 費          | 1,943,478            | 1,874,513            | 68,965               | 103.7        |
| <b>【経 費】</b>       | <b>【 12,531,704】</b> | <b>【 11,630,327】</b> | <b>【 901,377】</b>    | <b>107.8</b> |
| 旅 費 交 通 費          | 432,463              | 463,025              | Δ30,562              | 93.4         |
| 減 価 償 却 費          | 2,810,106            | 3,251,595            | Δ441,489             | 86.4         |
| 賃 借 料              | 218,182              | 218,182              |                      | 100.0        |
| 保 険 料              | 424,892              | 416,419              | 8,473                | 102.0        |
| 修 繕 費              | 1,910,786            | 648,312              | 1,262,474            | 294.7        |
| 水 道 光 熱 費          | 1,377,904            | 1,316,022            | 61,882               | 104.7        |
| 燃 料 費              | 1,870,181            | 1,605,490            | 264,691              | 116.5        |
| 消 耗 品 費            | 2,944,301            | 2,927,313            | 16,988               | 100.6        |
| 租 税 公 課            | 24,000               | 24,000               |                      | 100.0        |
| 荷 造 包 装 費          | 266,129              | 325,649              | Δ59,520              | 81.7         |
| 支 払 手 数 料          | 157,976              | 256,799              | Δ98,823              | 61.5         |
| 諸 会 費              | 33,484               | 33,484               |                      | 100.0        |
| リ ー ス 料            | 33,300               | 66,600               | Δ33,300              | 50.0         |
| 雑 費                | 28,000               | 77,437               | Δ49,437              | 36.2         |
| <b>当期総製造費用</b>     | <b>48,150,136</b>    | <b>49,409,946</b>    | <b>Δ1,259,810</b>    | <b>97.5</b>  |
| 期首仕掛品棚卸高           | 6,966,645            | 5,160,638            | 1,806,007            | 135.0        |
| 期末仕掛品棚卸高           | Δ7,914,153           | Δ6,966,645           | Δ947,508             | 113.6        |
| <b>当期製品製造原価</b>    | <b>47,202,628</b>    | <b>47,603,939</b>    | <b>Δ401,311</b>      | <b>99.2</b>  |

## 株主資本等変動計算書

株式会社 新しい村

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

単位：円

|         | 株主資本      |            |            |            |          |            | 純資産合計      |
|---------|-----------|------------|------------|------------|----------|------------|------------|
|         | 資本金       | 利益剰余金      |            |            | 自己株式     | 株主資本合計     |            |
|         |           | その他利益剰余金   |            | 利益剰余金合計    |          |            |            |
|         |           | 別途積立金      | 繰越利益剰余金    |            |          |            |            |
| 当期首残高   | 5,000,000 | 43,000,000 | 27,955,422 | 70,955,422 | △150,000 | 75,805,422 | 75,805,422 |
| 当期変動額   |           |            |            |            |          |            |            |
| 当期純利益   |           |            | 215,302    | 215,302    |          | 215,302    | 215,302    |
| 当期変動額合計 | -         | -          | 215,302    | 215,302    | -        | 215,302    | 215,302    |
| 当期末残高   | 5,000,000 | 43,000,000 | 28,170,724 | 71,170,724 | △150,000 | 76,020,724 | 76,020,724 |

## 個別注記表

株式会社 新しい村

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定率法

但し、平成10年4月1日以降に取得した建物、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法

無形固定資産 法人税法の規定による定額法

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

### 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済み株式の数

前期末株式数（発行済普通株式）

当 期

100株

前 期

100株

当期増加株式数（発行済普通株式）

当期減少株式数（発行済普通株式）

当期末株式数（発行済普通株式）

100株

100株

前期末株式数（発行済優先株式）

当期増加株式数（発行済優先株式）

当期減少株式数（発行済優先株式）

当期末株式数（発行済優先株式）

### 一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

当 期

前 期

一株当たりの当期純利益

2,219.61円

6,105.64円

一株当たりの純資産額

783,718.80円

781,499.20円

### その他の注記

議案について

令和 5年 6月 28日開催の定時株主総会において、上記の議案は承認可決されております。


## 監 査 報 告 書

監査役は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの第22期営業年度の貸借対照表、損益計算書及び附属明細書等の関係書帳簿、証憑書類等を監査いたしました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和5年5月17日

株式会社 新しい村

監 査 役 鈴木 充 

監 査 役 戸田 俊 



□議案第1号 第23期経営方針(事業計画案)の件





# 第23期 事業計画



作成日令和5年3月1日  
株式会社 新しい村

## 第23期事業計画

(株)新しい村の今期は、町の指定管理者としての指定期間5カ年の初年度を迎えます。改めて、全従業員一丸となり宮代町の「農」のあるまちづくり政策推進を基本に全ての事業部に於いて、お客様第一主義と現場主義をモットーに地域社会に愛され信頼される健全な会社経営と宮代町の指定管理者としての役割を十分理解し、5カ年で掲げた業務要求水準に沿った事業計画を達成できる様邁進して参ります。

### **企業理念**

わたしは、「農」のあるまちづくりの理念を理解し、政策実現のできる従業員を目指します。

わたしは、お客様に心から感謝の気持ちを表現できる従業員を目指します。

わたしは、お客様に心から気配りのできる従業員を目指します。

わたしは、地域社会に愛され信頼される従業員を目指します。

わたしは、仕事に対し常に問題意識を持ち行動できる従業員を目指します。

### **経営基本方針**

1. 新しい村が「農」のあるまちづくりの拠点施設であることを理解し、宮代町と連携、協力を図り、地産地消の推進と農風景の維持保全に努めて参ります。
2. 新しい村を拠点とした交流の輪を更に広げ、「農」に親しむ町民を増やし、新たな価値の創造構築に繋げて参ります。
3. 指定管理者としての役割の下、宮代町の農業を将来に渡り、守り続けるという使命感と責任感を持って、事業部内の管理運営に努めて参ります。
4. 全スタッフが収益面での意識改革による経営を行い、生産者の所得向上にも努め、極限まで町の委託料に頼らない自立した事業運営に努めて参ります。
5. 施設利用者の平等、公平な利用の確保など、宮代町が定める「管理運営の原則」に沿った施設の運営に努めて参ります。

以上の経営基本方針の下、全事業部が指定管理者業務要求水準に基づき町との施策共有を図りながら具現化に向け安定した会社運営に努めて参ります。

今期も運営にあたっての施策としましては、大きくは取締役会の充実と、現場で働く従業員との社員定例会議を有効に活用し、スタッフとのコミュニケーションを図りながら状況確認による的確な判断の下で、業務改善に努めて参ります。

(株)新しい村は宮代町の指定管理者であることから、従来どおり町役場担当部署、及び新しい村事業部スタッフとの月に一度の経営会議の継続は不可欠で、毎月の社内運営状況確認や事業計画進捗度に関しての助言や運営面の共有を図り、より良い施設環境を最大限に活かしお客様の満足度を高めて参ります。

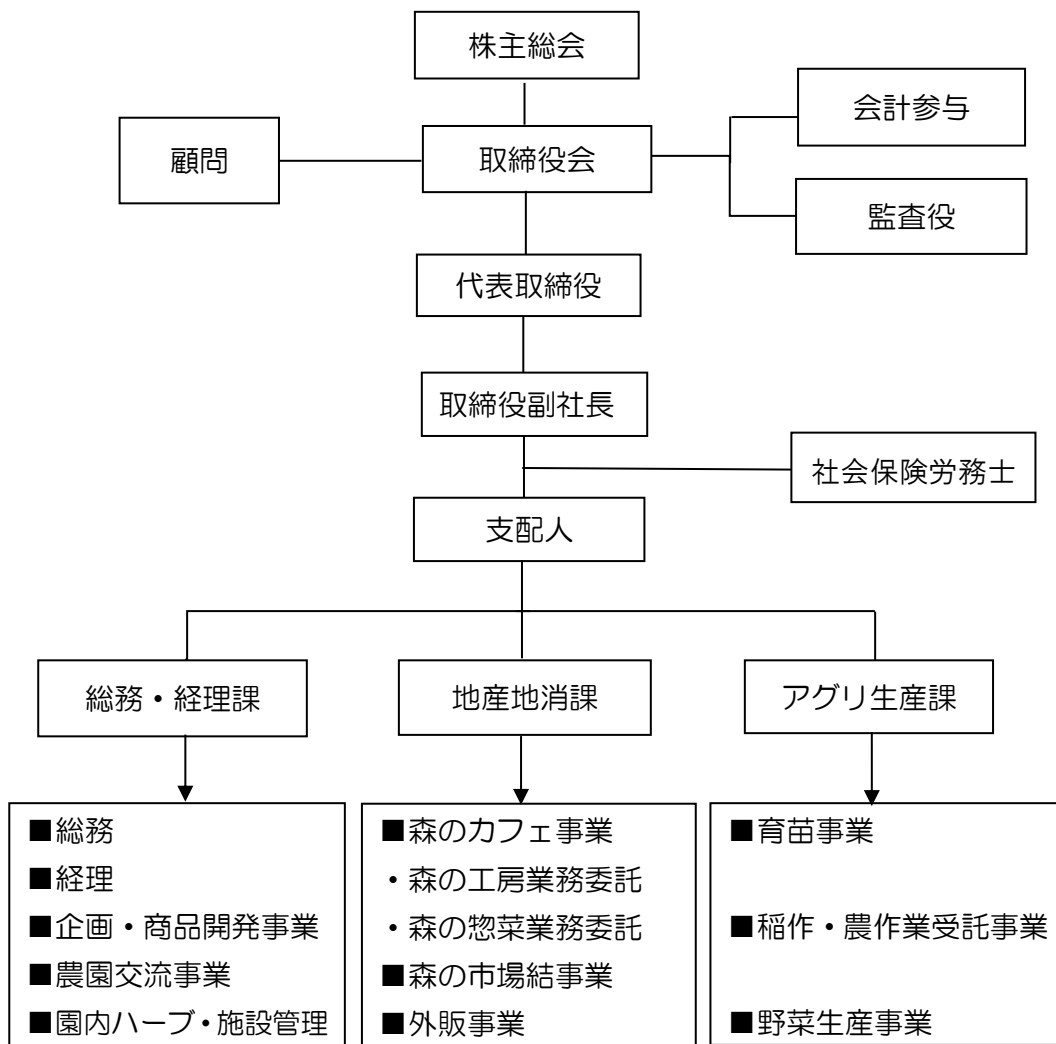
又、時代の変化に伴い、今後更に加速が予想されます農業従事者の高齢化と後継者不足により社内農業支援事業部におきましては、「水稻苗、稲作、農作業受託業務」などの拡大体制を視野に入

れ日々の業務を行って参ります。

同時に宮代町の政策である、森の市場「結」、地産地消推進事業に関しましても同様、現状生産者の高齢化と後継者不足により農産物生産者の減少や、宮代町の政策拠点である森の市場「結」におきましての出荷量は減少傾向にあり課題を残しています。現状打開策としましては、生産者からの協力と自社野菜部門にての農産物生産量拡大を含めたあらゆる手段と、積極的な新規の会員確保に全力で取り組み、お客様に支持される直売所を前提とし、生産者、商業者、及び従業員の生活の安定を目指した運営を図って参ります。

改めて、株式会社新しい村に求められる役割は町の第三セクターであり、従来通り町の政策である「農」のあるまちづくりを前提とした活気溢れる施設運営と信頼されるべく健全な会社経営に向け、「お客様、生産者、商業者、関係機関」と情報共有を図り進めて参ります。

### 《株式会社新しい村組織図》



# I 森のカフェ事業（地産地消課）

## 1. 事業の運営方針

本事業の目的は「農」のあるまちづくりの理念に基づき、カフェメニューなどの販売を通じ、お客様へ食育を推進していく最も重要な役割を主とした事業で、その目的とするものは以下の通りです。

## 2. 事業の概要

- (1) 「農」のあるまちづくりの理念に基づき、地元農産物を使用した新規メニューの考案、及び販売を通じ地域のお客様から支持される施設運営に努めて参ります。
- (2) 地元で採れた農産物を積極的に使用することにより、健康に配慮したメニューとの共有を図り、より一層、地域のお客様へ安心・安全で満足度の高い食育の提案に努めて参ります。
- (3) 地元農産物の食材にて、付加価値のある商品を開発するなど、販売実施の具現化を目指し、カフェ事業として独自のオリジナルメニューの確立を常に追求した業務を心掛け運営にあたります。
- (4) 季節に応じ、お客様へ配慮した屋外休憩スペースを最大限に活用し、お客様へ食と自然環境を満喫していただき、利用頻度を上げることで収益の改善を含めた運営の継続に努めて参ります。

## 3. 第23期の目標、及び実施、施策事項

### (1) 新しい村オリジナル、カフェ新規メニュー開発の継続

#### ◆実施内容（手段と対策）

- ①旬の野菜や果物にこだわることを第一に地場産農産物を使用した新規メニューの考案と継続。
- ②地場産食材を使用した他店に無いオリジナルメニューの試作考案と継続。
- ③同業種で販売している売れ筋商品や情報を参考にし、新しい村独自のオリジナル商品化を目指す。

□目標値：収益貢献オリジナル商品1アイテムの確立、カフェ売上全体の20%以上。

### (2) 季節イベント時の販売強化

#### ◆実施内容（手段と対策）

- ①森の市場「結」大イベント、及び社外イベントの共有を図り、季節に応じた一品メニュー、ワンハンド、ワンコインで手軽に食べられる商品を販売し収益の増大に努める。
- ②季節イベントに合わせて限定メニューを考案し、新しい村、及び森のカフェの知名度アップと収益の確保に努める。

□目標値：イベント時の一日平均販売額30,000円、年間目標最低年6回以上

### (3) 社内の部門間連携の継続

#### ◆実施内容（手段と対策）

- ①ジャムを活用したメニュー、または、アグリ生産課で育てた米粉や野菜を取り入れた商品をメニュー化した販売を実施します。（パフェ・ケーキ）など
- ②季節限定にてアグリ生産課スタッフとカフェ部門で業務を共有し、地元野菜、果物を使用したオリジナルベジ氷の販売実施の継続。

③開発商品販売に関しては、POPやSNSを最大限に活用し、新しい村全体のイメージアップに繋がる宣伝効果を積極的に行う。

□目標値：観光事業商品の連携商品、アグリ生産課野菜連携商品メニュー年間3アイテム

□1日平均5点、年間販売数1,560点

#### (4) カフェメニューの作業効率化、及び収益の確保

##### ◆実施内容（手段と対策）

①年間2回のメニュー改定検討会の実施。（当年9月、翌年2月）

②売れ筋商品の集約化に努め、屋外休憩スペースを視野に入れた配膳スピードの改善。

③月次損益ごとの数値意識向上の追及と検証。

□目標値：主要ベスト12アイテム80%の売上確保のメニュー展開を視野に入れた定番商品の確立を図る。

#### 4. 第23期実施、施策の年間販売目標

金額単位：千円

| No. | 項目                            | 実施内訳   | 販売予測額 |
|-----|-------------------------------|--|-------|
| 1   | 新しい村森のカフェオリジナルメニューの開発、及び販売    | ・(12点/1日平均×26日)×12カ月<br>=3,744点/年<br>・3,744点×350円/1点 | 1,310 |
| 2   | 季節イベント販売                      | ・6回/1年間×30,000円/1日                                   | 180   |
| 3   | 社内の部門間連携商品販売<br>(パフェ、ケーキ、ベジ氷) | ・(5点/1日平均×26日)×12カ月=<br>1,560点/年<br>・1,560点×350円     | 546   |
| *   | 合計                            |  | 2,036 |

#### 5. 第23期カフェ事業売上計画

##### ①第23期月別売上予算表

金額単位：千円

| 月 度  | 4月    | 5月    | 6月  | 7月    | 8月    | 9月    |
|------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|
| 売上予算 | 1,180 | 1,100 | 935 | 990   | 980   | 980   |
| 月 度  | 10月   | 11月   | 12月 | R6/1月 | R6/2月 | R6/3月 |
| 売上予算 | 1,050 | 920   | 568 | 655   | 670   | 1,050 |

##### ②第23期「上半期・下半期」売上予算及び前期対比

金額単位：千円

| 項 目  | 売上予算   | 構成比    | 前期実績   | 前期対比   |
|------|--------|--------|--------|--------|
| 上半期  | 6,165  | 55.7%  | 5,888  | 104.7% |
| 下半期  | 4,913  | 44.3%  | 4,874  | 100.8% |
| 年間合計 | 11,078 | 100.0% | 10,762 | 102.9% |

## Ⅱ 森の市場「結」(地産地消課)

### 1. 事業の運営方針

- (1) 宮代町の「農」のある環境を最大限に活かし、生産者農産物直売所としての更なる活性化を目指し、運営にあたります。
- (2) 自然豊かなロケーションを最大限に活かし、「農産物直売所及びカフェ」とマッチングした憩いの場としてお客様から支持される施設運営に努めて参ります。
- (3) 町内、町外のお客様へ、安心・安全な農産物を地産地消の基本理念に基づき食材提供の場として直売所の運営に努めて参ります。

### 2. 事業の概要

- (1) 宮代町の資源「農」から生産できる農産物販売所である森の市場「結」は、生産者とコミュニケーションを図りながら地場野菜の販売強化に努めて参ります。
- (2) サービス業としてのあらゆる情報の収集、また専門家や外部講師から得た知識などを多くのお客様に配慮し、町内、町外よりご来所いただいたお客様より支持される直売所を目指します。
- (3) 地域支援事業の一環として、農産物、商業者製品及びその他の商品を買物難民地域へ町の指定管理者の役割として無料宅配サービス業務の実施を継続します。
- (4) 常にお客様、生産者、商業者の目線に立ち、スタッフとのコミュニケーションを図りながら施設管理、商品管理を常に心掛けお客様の満足度を高めると共に収益の安定化に努めて参ります。
- (5) 施設、及び芝生広場を最大限に活かした大イベントの計画を自社内他部門と共有し情報収集を図り実施に向け具現化することで更なる知名度と施設の活性化を目指します。

### 3. 第23期の目標及び実施、施策事項

#### (1) 地場産農産物の売上比率の確保

##### ◆実施内容(手段と対策)

- ①町内、及び町外の新規生産者、商業者の開拓を継続し、出荷量の増加に努める。
- ②自社アグリ生産課と連携し、森の市場「結」、生産者高齢化による出荷量の減少を補う。
- ③既存生産者へ会議等を通じ、年間作付け計画書の提出を要請し、又計画と実態の確認は生産者組合会議の議題としてフィードバックし、出荷量増のアプローチ強化に努める。
- ④集荷サービス先件数増の確保を目指し、地場産、及び近隣野菜の集荷量のアップを目指す。  
□目標値：地場産農産物売上比率60%キープ  
□目標値：新規生産者集荷先年間2軒の開拓。

#### (2) 魅力ある直売所作り

##### ◆実施内容(手段と対策)

- ①地産地消を前提とした、出荷商品最低基準「一商品3生産者」を目標とし、お客様が商品の選択出来る売場展開を目指す。
- ②町内、及び近隣生産者、商業者の開拓を行い、飽きさせない販売商品の品揃えと、新規開拓差別化商品の販売促進に努める。

③果物に関し、産地直送品を含めたランク別規格品の品揃え、及び生産者販売商品規格の向上を共に共有した売場展開を目指し、お客様のニーズに対応する。

④季節ごとの特集コーナーを充実させ、季節感のある売場の充実化を目指す。

⑤販売促進の強化。(POP、及びレシピの配布、SNSの活用)

□目標値：売上達成率昨年対比100%以上確保

### (3) 売場の多様化の継続

#### ◆実施内容(手段と対策)

①農業従事者不足に伴い、生産者の生産量、及び出荷量の減少を補う仕入品との適正なマッチングの継続によりお客様の増大を目指し、収益の安定と生産者の収入安定に結びつく様な売場展開を心がける。

②酒売り場の充実化により相乗効果を図る。

自社部門間連携、(日本酒のオリジナル品のアイテム増加による品揃え、宮代育ちの品揃え、クラフトビールの品揃え、地方ワイナリー直送ワインの品揃え)の強化。

③被災地支援を含めた地方特産品の品揃えの開拓。

□目標値：売上達成率昨年対比100%以上確保

### (4) 集荷、宅配サービス事業の継続

#### ◆実施内容(手段と対策)

①集荷事業の手段

a/既存生産者、商業者の開拓に関し、町内、町外の納品困難な生産者の情報収集と直接生産者宅訪問による開拓を行う。

b/地場産買取り商品の集荷による出荷量増と、売り場の活性化を図る。

②宅配事業の手段

a/宮代町内に限り米5kg以上お買上げのお客様の無料配達、またはその他商品含む3,000円以上お買上げ商品は、お客様へ無料宅配の実施継続。

b/特に買物難民地域への積極的な配達の実施を基本に広告チラシの定期的なポスティングなど行い宅配事業の周知徹底に努める。

c/買物難民地域へ主力農産物、及び商業者商品、その他商品を含み、農産物の端境期を除いた時期において季節期間限定カタログ販売の継続。

※周知方法：カタログを作成し買物難民地域へポスティング実施、又町内各自治会掲示版の活用。

□集荷目標値：新規集荷先発掘年間2軒

□集荷目標値：年間450回以上

□宅配目標値：年間240軒以上

□外販目標値：買物難民地域へ年間4回、期間限定カタログ販売の実施

### (5) スタッフ教育の強化

#### ◆実施内容(手段と対策)

①担当者会議の有効活用。

②朝礼を活用したスタッフ間のミーティング実施。

|  |
|--|
| <p>③商品取扱いなど現場OJTによる収益確保に対する意識向上を図る。</p> <p>④専門講師を招いた勉強会の実施。(テーマを社内共有しスタッフ間の意識向上を図る)</p> <p>□目標値：担当者会議月1回の実施。</p> <p>□目標値：勉強会最低年1回以上の実施。</p>  |
| <p><b>(6) 生産者組合会員会議の充実化</b></p> <p>◆実施内容(手段と対策)</p> <p>①年間4回の実施「6月・9月・12月・3月」。</p> <p>②農産物作付け計画表の提出による出荷量確保の明確化。</p> <p>③農薬記帳シート提出の追求と、安心・安全な農産物生産の徹底。</p> <p>④生産者組合員会議の充実化、「各部会報告・会社運営状況、連絡事項」及びその他要請など。の内容確認により生産者組合会員との意思疎通を図る。</p> <p>□目標値：定例会議4回、その他勉強会最低年間1回以上実施</p> |
| <p><b>(7) 消費者モニター会の実施継続</b></p> <p>◆実施内容(手段と対策)</p> <p>□目標値：年間4回実施。</p> <p>予定期日：「第1クール11月・第2クール翌年2月・第3クール同年5月・第4クール同年8月」</p> <p>※記載年月を一年間のモニター会の実施期間とし、以後の計画も同様募集となります。</p>  |
| <p><b>(8) 業務委託テナント(パン工房、惣菜)との業務共有</b></p> <p>◆実施内容(手段と対策)</p> <p>①イベント時の販売共有を図る</p> <p>②委託者による村弁当の販売継続の共有を図る。</p> <p>③カタログ販売のメニュー共有を図る。</p> <p>□目標値：各テナント(パン工房、惣菜)イベント時の販売商品1回3品以上の共有を図る</p> <p>□目標値：カタログ販売の共有、カタログ商品最低一品以上掲載</p>  |
| <p><b>(9) イベントの実施</b></p> <p>◆年間イベント別表記載(第23期年間イベント実施、施策計画表)</p>   |

#### 4. 第23期年間イベント実施、施策計画表

#### ◎大イベント

| 期日 | □タイトル                             | □計画内容  |
|----|-----------------------------------|--|
| 4月 | 春の苗物市                             | ①生産者の野菜苗・花苗及び「野菜種、花種」の大量販売。<br>②協力業者による肥料詰め放題実施「化成肥料、有機肥料」 |
| 5月 | ゴールデンウィークフェア                      | ①春の(野菜苗、花苗)の販売継続。<br>②商業者を中心に甘いもの市や季節のお弁当販売。               |
|    | ◎ホテルのタベ<br>※主催NPO法人<br>「宮代水と緑のネット | ①予定6月17日(土曜日)ほっつけ田にてホテルの鑑賞会。<br>②店内商業者「惣菜、弁当」類の販売量増の要請。    |



|     |   |  |
|-----|---|--|
| 6月  | ワーク   | ③デッキでの商業者の出店要請、及び自社店頭実演販売の実施。<br>※森の市場「結」、森のカフェ営業時間延長（19：00迄）。   |
|     | ◎村の収穫祭&芝生<br>広場バラエティマーケット（飲食・作る・体験）         | ①予定日6月24日（土曜日）<br>②地場野菜をメインに旬の野菜、果物の積極販売。<br>③生産者組合会員（生産者、商業者）、及び外部テント村出店専門業者を誘致し集客を図る。                          |
| 8月  | ◎夏の納涼ビアガーデン祭                                | ①12：00～19：00生産者組合会員商業者、及び宮代町商店会へ呼びかけ、模擬店出店者を募る。<br>②12：00～19：00時間割り自社イベント実施。<br>③12：00～19：00時間割りコンサート実施。         |
|     | ◎あっそんでフェスタ<br>※主催 西口商店街                     | ①西口商店会とイベントの共有を図りテント村を設置。<br>②「西口商店会、商業者、委託業者、自社」でのデッキ実演販売。  |
|     | 東武動物公園花火大会<br>を楽しもう<br>※主催「東武レジャー<br>企画（株）」 | ①19：00迄営業時間延長<br>②店内商業者商品の量販、及び自社、商業者による飲食屋外デッキ販売  |
|     | お盆セール                                       | ①生産者「果物、野菜、切り花（仏）」他お盆にまつわる商業者商品の拡販。  |
| 9月  | ◎フルーツ&産地品フェア                                | ※実施予定日9月2日（第一土曜日）<br>①宮代産、他近隣産果物（ぶどう・梨・いちじく）などの即売会実施。（生産者事前商品手配要請）<br>②フルーツ各産地商品の即売会。                            |
|     | 令和5年度産新米祭り                                  | ①9月16日・17日（土曜日、日曜日）予定、森の市場「結」にて新米宮代コシヒカリの即売会、及び新米おにぎりの販売など。  |
|     | 敬老の日感謝デー                                    | ①9月18日（月）先着150名様、新米特別栽培米プレゼント。（1kg進呈/1人様）  |
| 10月 | ◎村の収穫祭&芝生<br>広場バラエティマーケット（飲食・作る・体験）         | ①予定日10月21日（土曜日）<br>②地場野菜をメインに旬の野菜、果物の積極販売。<br>③生産者組合会員（生産者、商業者）、及び外部専門業者によるテント村出店。<br>※芝生広場を共有した専門出店業者を誘致し集客を図る。 |
| 12月 | ◎歳末大感謝祭                                     | ※新聞折り込み広告を入れた日替わりイベントの実施<br>①12月26日（火曜日）・27日（水曜日）会社、及び   |

|       |             |  |
|-------|-------------|--|
|       |             | 生産者組合会員協賛による歳末大抽選会。<br>②12月27日（水曜日）歳末自社杵つき餅実演販売。<br>（あんこ・からみ）<br>③12月26日（火曜日）から正月商品「根菜類の大量販売、地場産切り餅、のし餅、正月用切花」などの大量販売。<br>④お米特売26日（火曜日）～31日（日曜日）<br>⑤12月30日（土曜日）・31日（日曜日）年越し蕎麦の販売。（商業者手打ち蕎麦） |
| R6年1月 | ◎新春おしるこの振舞い | ①1月6日（第一土曜日）、生産者主導にて実施、（会社共賛）9：30～12：00迄。  |
|       | いちご祭り       | ①1月27日（土）、地元生産者、及び近隣生産者のいちごを限定販売、同時にいちごに関連したスイーツの販売。   |
| 2月    | いちご祭り       | ①2月24日（土）、地元生産者、及び近隣生産者のいちごを限定販売、同時にいちごに関連したスイーツの販売。   |
| 3月    | お彼岸ウィークセール  | ①商業者の和菓子、おだんご、お供え物などの販売。<br>②切り花（仏）の販売、生産者含む仕入品での対応。   |
|       | いちご祭り       | ①3月30日（土）、地元生産者、及び近隣生産者のいちごを限定販売、同時にいちごに関連したスイーツの販売。   |

## 5. 第23期直売所事業売上計画

### ①第23期月別売上予算

金額単位：千円

| 項目   | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 売上予算 | 22,600 | 20,600 | 19,000 | 17,900 | 21,900 | 22,600 |
| 項目   | 10月    | 11月    | 12月    | R6/1月  | R6/2月  | R6/3月  |
| 売上予算 | 19,700 | 17,000 | 21,400 | 17,000 | 17,500 | 21,200 |

### ②第23期「上半期・下半期」売上予算、及び前期対比

金額単位：千円

| 項目   | 売上予算    | 売上構成比  | 前期実績    | 前期対比   |
|------|---------|--------|---------|--------|
| 上半期  | 124,600 | 53.0%  | 119,807 | 104.0% |
| 下半期  | 113,800 | 47.0%  | 115,921 | 98.2%  |
| 年間合計 | 238,400 | 100.0% | 235,728 | 101.1% |

### Ⅲ 外販事業（地産地消課）

#### 1. 事業の運営方針

町内学校給食の食材調達代行及び福祉関係施設への食材提供、他各企業団体へ地元農産物の安定供給に努めて参ります。

#### 2. 事業の概要

- (1) 生産者年間作付け計画表を基に野菜生産状況の把握に努め、福祉施設への満足度の向上に努めて参ります。
- (2) 安心・安全な食材を徹底的に吟味し、信頼関係の下で、販売量の増大と収益の確保を目指し、外販事業としての確立に努めて参ります。
- (3) 担い手生産者を中心とした地場野菜の商品確保、及び自社アグリ生産課との農産物生産体制の共有を図り取引先への安定供給に努めて参ります。
- (4) 定期的に生産者の圃場確認を行うと共に、コミュニケーションを密にし、良質な地場野菜の納品を目指し信頼度の向上に努めて参ります。
- (5) 町内買物難民地域貢献への支援と外販事業としての増収増益を目指して参ります。

#### 3. 目標及び実施、施策事項

##### (1) 新規生産者発掘の継続

###### ◆実施内容（手段と対策）

- ①町内、町外の新規生産者宅へ直接訪問を行い会員数の確保に努める。
  - ②近隣直売所の定期的なリサーチによる情報収集を含め、新規生産者の発掘。
- 目標値：年間3名以上組合員加入（商業者含む）

##### (2) 宮代町学校給食センターへの地場野菜供給量アップ

###### ◆実施内容（手段と対策）

- ①定期的な宮代町学校給食センターとの献立計画に基づいたミーティングの実施。
- ②給食センターからの地場産野菜献立計画表に基づき生産者へ数量の事前割り振り依頼をお願いすることにより、地場産比率のアップと生産者の収入安定に努める。
- ③生産者の余剰野菜や新商品のサンプル提案の継続を行い納品量の増大と生産者の収入安定貢献に努める。
- ④自社アグリ生産課と連携し、学校給食センターにおける主力品目を最大限対応出来る体制構築に努める。例えば（キャベツ、ブロッコリー）など。
- ⑤地場産野菜の直接買いを行うことにより、供給量と地場産使用率のアップに努める。
- ⑥特殊な野菜類の生産要請と取引先へのアプローチを図り納品額の増大を図る。（例えばささげ、クワイ、そうめんかぼちゃ）など。

□目標値：全体ミーティング最低年間2回以上

□目標値：外販事業前年度納品額対比100%以上

### (3) 新規販売先の拡大

#### ◆実施内容（手段と対策）

- ① 外売イベントに積極的に参加し、新しい村のPRを行う。
- ② 安定供給できる自社米の新規販売先の確保。
- ③ 社外出張販売の継続と拡大。
- ④ 買い物難民地域へ季節限定商品のカタログ販売。（当該地区の自治会への協力依頼）
- ⑤ 部門間の情報共有を図り新規取引事業所の開拓。

□ 目標値：新規取引先年間一事業所確保

## 4. 第23期外販事業売上計画

### ① 第23期月別売上予算

金額単位：千円

|      |       |       |       |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 項目   | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    |
| 売上予算 | 1,150 | 1,350 | 1,580 | 1,370 | 890   | 1,430 |
| 項目   | 10月   | 11月   | 12月   | R6/1月 | R6/2月 | R6/3月 |
| 売上予算 | 1,400 | 1,530 | 1,550 | 1,420 | 1,650 | 1,250 |

### ② 第23期「上半期・下半期」売上予算、及び前期対比

金額単位：千円

| 項目   | 売上予算   | 売上構成比  | 前期実績   | 前期対比   |
|------|--------|--------|--------|--------|
| 上半期  | 7,770  | 46.9%  | 7,638  | 101.7% |
| 下半期  | 8,800  | 53.1%  | 8,686  | 101.3% |
| 年間合計 | 16,570 | 100.0% | 16,324 | 101.5% |

## IV 農業支援事業（アグリ生産課）

### 1. 事業の運営方針

- (1) 「農」のある環境を維持再生していくための農家に対する支援対策事業の継続に努めて参ります。
- (2) 関係機関と連携をとり「農」のあるまちづくり政策に基づき指定管理者として、農業支援事業としての、社内受入れ態勢の確立の継続に努めて参ります。
- (3) 自部門の増収増益の確立、又森の市場「結」の課題である高齢化による農産物出荷量減少の一部解消、及びその他関係施設へ安定供給を図るため、通年を通しての本格的な野菜生産拡大に努めて参ります。
- (4) 有効活用の一環として育苗用パイプハウスを農閑期、「春から秋」にかけ農家への貸し出しを実施し、野菜生産での有効活用、生産品は基本自社森の市場「結」での販売が条件で、売場の活性化に努めて参ります。
- (5) 中長期的計画に基づき今後高齢化に伴う後継者不足が予測される遊休圃場を農家支援の一環とし、社内従業員が（稲作、野菜）生産技術を高め、将来を見据えた、新しい村就農希望者の受け入れや研修制度を視野に入れた取組みと、宮代町の「農」あるまちづくり政策に沿った社内運営を目指し、地域活性化に努めて参ります。

(6) 稲作に関し、圃場を限定し、宮代ブランド米の試作と具現化の継続に向け、販路の拡大に努めて参ります。

## 2. 事業の概要

### (1) 農作業受託

①自主事業の拡大に伴い、宮代町を中心に町との連携強化を図り、農地保全推進と共に収益の確保に努めます。

②関係機関との連携、及び情報交換などにより農作業の一部を受託し作業効率を目指すと共に、農家支援と収益の確保を積極的に努めます。

③蕎麦2ha以上を目標に刈取り作業受託受け入れ体制の確立に努めます。

#### ④第23期農作業受託売上計画

金額単位：千円

| No. | 項目     | 農作業受託内容       | 今期収入予定額 | 前期実績  |
|-----|--------|---------------|---------|-------|
| 1   | 稲作作業受託 | 春作業（耕耘・田植え等）  | 720     | 711   |
| 2   | 稲作作業受託 | 秋作業（刈取り・乾燥調整） | 2,500   | 2,221 |
| 3   | 蕎麦作業受託 | 刈取り・乾燥調整等     | 420     | 413   |
| 4   | その他    | 耕耘作業・草刈り等     | 900     | 890   |
| *   | 合計     |               | 4,540   | 4,235 |

### (2) 第23期水稻苗、育苗計画

①育苗プラントキャパ最大限の水稻苗生産強化、及びホームページなど活用したPR活動による販売数量強化を図り農家農業支援の継続に努めます。

□水稻苗生産目標枚数30,000枚以上とします。

□水稻苗生産予定枚数内訳（自社使用分2,900枚・販売28,000枚）

#### ②第23期2023年度水稻苗生産販売計画

単位：枚

| No. | 項目     | 本年度計画 | 昨年度実績 |
|-----|--------|-------|-------|
| 1   | 販売枚数   | 27639 | 27478 |
| 2   | 自社使用枚数 | 3100  | 3146  |
| *   | 合計     | 30739 | 30624 |

※特徴としまして、年々生産農家の高齢化や後継者不足により離農者、及び経営規模縮小農家が増加傾向にあり、今後も生産状況の内訳としましては、「自社使用は増加、農家への販売数」は減少傾向になると予測されます。

#### ③第23期2023年水稻苗販売額予定

金額単位：千円

| No. | 項目      | 出芽苗   | 硬化苗    | 配達料 | 合計     |
|-----|---------|-------|--------|-----|--------|
| 1   | 今期販売予定額 | 6,978 | 11,313 | 210 | 18,501 |
| 2   | 前期販売実績額 | 6,823 | 11,372 | 210 | 18,405 |

※今期も安心・安全な米作りに向け温湯消毒を実施します。又今期より（原料、資材、光熱費）などの物価高騰により30円/1枚の値上げを行います。

### (3) 稲作（作付け）計画

①第23期稲作計画に関しましては、令和2年度初旬から続いている新型コロナウイルス感染症拡大の影響により米の需要が減少していましたが、昨今やや回復基調にはありますが、従来の需要に戻っていない状況下において過剰在庫を避けるため、今期も前期同様飼料用米の作付け比率を上げた計画にて実施します。作付け品種に関しましては、前期同様需要の高い「特別栽培米コシヒカリ」を中心に「特別栽培米彩のきずな」「特別栽培米ミルククイーン」の作付けを行い、販路面ではふるさと納税返礼品の食べ比べアイテムを取入れ販路拡大の継続に努めます。

②今期も、「特別栽培米コシヒカリ」を中心に圃場管理、及び土壌作りを行い、品質と収量の向上に努めます。

③前年度産米よりリスク分散を目的とし、一部の圃場において飼料用米（品種名：武蔵野26号）の作付けを前期並みの作付けにて計画しました。

④今期も「彩のきずな」を原料とした自社オリジナルブランド酒を、酒造会社へ委託し、出来上がった製品に関しましては、森の市場「結」にて販売共有し、同業種との差別化を図ります。

⑤宮代酒販組合との連携で酒米「五百万石」の作付けを行い銘柄「宮代そだち」の復活支援と森の市場「結」にて酒コーナーの品揃えに向けた社内共有を図ります。

⑥第23期2023年度産米品種別稲作、及び収量目標

□主食用米収量目標450kg/10a（1反当たり7.5俵以上）

□飼料用米収量目標510kg/10a（1反当たり8.5俵以上）

⑦第23期2023年度産米作付け計画

| No. | 品種           | 今期予定 |        |      | 前期実績 |        |      |
|-----|--------------|------|--------|------|------|--------|------|
|     |              | 区画   | 実利用    | 30kg | 区画   | 実利用    | 30kg |
|     |              |      | 面積 (a) | 袋    |      | 面積 (a) | 袋    |
| 1   | 普通コシヒカリ      | 32   | 435    | 609  | 29   | 432    | 581  |
| 2   | 特別栽培米コシヒカリ   | 29   | 503    | 700  | 29   | 503    | 667  |
| 3   | 特別栽培米ミルククイーン | 9    | 145    | 203  | 13   | 197    | 283  |
| 4   | 特別栽培米彩のきずな   | 15   | 205    | 287  | 15   | 205    | 156  |
| 5   | 満月もち         | 1    | 11     | 16   | 1    | 11     | 16   |
| 6   | ほしじるし        | 1    | 57     | 45   | 0    | 0      | 0    |
| 7   | 飼料用米         | 32   | 636    | 1017 | 34   | 660    | 885  |
| *   | 合計           | 119  | 1992   | 2877 | 121  | 2008   | 2588 |

⑧第23期2023年度産米販売計画

金額単位：千円

| No. | 主な販売先             | 今期   |       | 前期実績  |       |
|-----|-------------------|------|-------|-------|-------|
|     |                   | 玄米1袋 | 売上    | 玄米1袋  | 売上    |
|     |                   | 30kg | 概算    | 30kg  | 概算    |
| 1   | 日本工業大学（株）NITクリエイト | 350  | 2,275 | 263   | 2,012 |
| 2   | 森の市場「結」その他（外販、総菜） | 950  | 6,175 | 1,008 | 6,532 |
| 3   | ふるさと納税返礼品         | 250  | 1,625 | 318   | 1,925 |

|   |                |      |        |      |        |
|---|----------------|------|--------|------|--------|
| 4 | JA（飼料用米）       | 1107 | 5,200  | 885  | 4,549  |
| 5 | その他（契約業者、満月もち） | 320  | 2,080  | 89   | 445    |
| * | 合計             | 2977 | 17,355 | 2563 | 15,463 |

※ふるさと納税返礼品に関しましては、村育ちコシヒカリの販売強化策としまして、今期も前期同様（20kg/1オーダー）の格安お買得アイテムを継続し予定販売量の目標達成に努めると共に前期同様特別栽培米3品種の食べ比べアイテムを導入し予定数量の確保と収益の安定に努めます。

#### （４）蕎麦（作付け）計画

①2023年度産におきましては、最近のそば粉需要が減少傾向にあり販売面で苦戦していることから、実態を視野に入れ最大で「2区画4,000㎡、目標収穫量400kg」を予定とし、受託先からの買取りを含め売上予定金額300,000円を目標とします。

#### （５）農産物生産計画

①米収益減を補うための手段としまして、育苗ハウスを有効活用し、今期も農閑期である秋口から暖房器具を使用した抑制栽培による果菜類（トマト）の生産を行い、直売所への販売や観光事業と連携し収穫体験を実施するなど、自主事業による収益の確保に努めます。

②今後予想される中長期的農産物流通変化に対応すべく手段としまして、今期で自社野菜生産5年目を迎え果菜類の品種も徐々に増やし宮代町の政策である地産地消の推進を図りながら、部門内収益向上に努めます。（例えば、トマト、キュウリなど）

③農産物生産予定に関しましては、自社内販路、森の市場「結」向けが基本で、過剰品は積極的に他社施設へ販売し収益の向上を目指します。また地場野菜の学校給食への供給を森の市場「結」と連携し、販売強化に努めます。

④直接販売やインターネットによる販売など、時流に沿った多様な販売経路の構築を行うことで、収益と雇用の拡大に努めます。又今期ふるさと納税返礼品（トウモロコシ、干し芋）季節限定の販売を試みます。

#### ⑤第23期主力野菜生産計画表

金額単位：千円

| No. | 作物名    | 収穫時期         | 今期販売計画 | 前期実績  |
|-----|--------|--------------|--------|-------|
| 1   | トウモロコシ | 6月中旬～8月上旬    | 1,000  | 0     |
| 2   | ブロッコリー | 7月上旬～8月中旬    | 600    | 611   |
| 3   | サニーレタス | 5月上旬～6月中旬    | 350    | 322   |
| 4   | エダマメ   | 6月下旬～7月下旬    | 700    | 0     |
| 5   | ジャガイモ  | 5月上旬～7月中旬    | 500    | 203   |
| 6   | キャベツ   | 10月上旬～1月下旬   | 500    | 765   |
| 7   | サツマイモ  | 10月上旬～11月中旬  | 650    | 382   |
| 8   | トマト    | 6月中旬～・10月上旬～ | 900    | 187   |
| 9   | ニンジン   | 10月中旬～2月上旬   | 600    | 645   |
| 10  | 他      | 葉菜类等副作       | 200    | 738   |
| *   | 合計     |              | 6,000  | 3,853 |

※前期売上実績は、会計ソフトの売上を計上しています。

⑥第23期野菜生産年間スケジュール表

播種  定植  収穫 

| 期 日                              | 1月 |   |   | 2月 |   |   | 3月 |   |   | 4月 |   |   | 5月 |   |   | 6月 |   |   |
|----------------------------------|----|---|---|----|---|---|----|---|---|----|---|---|----|---|---|----|---|---|
|                                  | 上  | 中 | 下 | 上  | 中 | 下 | 上  | 中 | 下 | 上  | 中 | 下 | 上  | 中 | 下 | 上  | 中 | 下 |
| トウモロコシ<br>(恵味) 30a               |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
|                                  |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
| ブロッコリー<br>(おはよう) 30a             |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
|                                  |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
| サニーレタス<br>(レットファルダ<br>ー) 10a     |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
|                                  |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
| エダマメ<br>(湯上り娘) 20a               |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
|                                  |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
| ジャガイモ<br>(男爵、キアカリ、メ<br>ークイン) 10a |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
|                                  |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
| キャベツ<br>(007) 30a                |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
|                                  |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
| サツマイモ<br>(紅はるか) 20a              |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
|                                  |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
| トマト<br>(桃太郎) 4a<br>二期作           |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
|                                  |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
| ニンジン                             |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
|                                  |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |
| その他副作                            | 通年 |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |    |   |   |

<7月度から>

| 期 日                | 7月 |   |   | 8月 |   |   | 9月 |   |   | 10月 |   |   | 11月 |   |   | 12月 |   |   |
|--------------------|----|---|---|----|---|---|----|---|---|-----|---|---|-----|---|---|-----|---|---|
|                    | 上  | 中 | 下 | 上  | 中 | 下 | 上  | 中 | 下 | 上   | 中 | 下 | 上   | 中 | 下 | 上   | 中 | 下 |
| トウモロコシ<br>(恵味) 30a |    |   |   |    |   |   |    |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |
|                    |    |   |   |    |   |   |    |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |
| ブロッコリー             |    |   |   |    |   |   |    |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |
|                    |    |   |   |    |   |   |    |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |





## V グリーンツーリズム事業（総務・経理）

### 1. 事業の運営方針

(1) 幅広い分野で様々な情報を活用したグリーンツーリズム事業を展開することにより、都市住民との交流を積極的に図り地域の活性化に努めて参ります。

(2) 「農」のあるまちづくりの理念を広く浸透させていくため、新しい村の持つ自然環境の施設を活かした様々な生涯学習活動の展開に努めて参ります。

### 2. 事業の概要

#### (1) 事業展開のポイント

①幅広い年代の方が参加できる様な様々な企画提案に努めて参ります。

②「農」のあるまちづくりの理念を浸透させる農業体験の実施に努めて参ります。

③園内のほっつけ田を最大限に活用し、観光事業とした集客に努めて参ります。

④町内の活性化のため、町内商工業者や企業と連携し幅広い講座の企画と、情報収集で得られた企画を取入れ村の集会所の稼働率アップを目指し施設の活性化に努めて参ります。

⑤森の市場「結」で販売している地元農産物等を活用した講座を実施することで地産地消の推進に努めて参ります。

⑥専門企業と連携し、ハーブの旬な情報提供と商品の販売を行いつつ、ハーブのある暮らしの提案と講座などを通じハーブ人口の拡大に努め活性化を図ります。

#### (2) 売上計画

①第23期売上目標 金額単位：千円

| 本年度予算 | 前期実績  | 前期対比   |
|-------|-------|--------|
| 6,400 | 6,326 | 101.2% |

□第23期売上計画根拠

※第22期の実績は、新型コロナウイルス感染症拡大自粛のため正常な形での運営が出来なく収入減となりましたが、今期の計画は外的要因が無い状態での売上計画を記載しました。

### 3. 第23期の目標及び実施、施策事項

#### (1) 集落農園「結の里」利用促進の継続

##### ◆実施内容（手段と対策）

①『集落農園「結の里」』の利用促進を図り継続的に利用率アップに努める。

②利用者のPR活動など情報発信を行い利用率の促進に努める。

□目標値：90%以上「全72区画中、常時64区画以上の稼働」

#### (2) ほっつけ田・稲刈り体験の実施

##### ◆実施内容（手段と対策）

①ほっつけ田は、田植え及び稲刈り体験が出来る様年間を通じて適正な管理を行い町内小学校や食育活動に取り組んでいる「企業、都内保育園、都内小学校、一般募集」を対象に稲作体験を実施、またほっつけ田では今期も特別栽培米の稲作にチャレンジします。

□目標値：年間14回以上・延べ参加者500人以上

※実施時期：「5月、6月、9月、10月」

### (3) 農業体験の実施

#### ◆実施内容（手段と対策）

①ブルーベリーの摘みとり体験

□目標値：延べ参加者300人以上

②野菜の収穫体験。（じゃがいも・さつまいも）

□目標値：延べ参加者400人以上

※実施時期：じゃがいも（6月）・さつまいも（11月）

③農作業を取り入れた婚活事業。

□目標値：年間5回・参加人員予定180人以上

### (4) 「農」のあるまちづくり講座

#### ◆実施内容（手段と対策）

①森の市場「結」で販売している地場産野菜や新しい村施設内で栽培しているハーブ・野菜などをPRする料理講座の実施。

□目標値：年間6回延べ人数60人以上

②1年を通じて農体験を総合的に楽しめる講座。

□目標値：年間3回以上延べ人数30人以上

③ハーブを使用した講座。

□目標値：年間6回延べ人数60人以上

④ハーブや新しい村の自然環境を生かした6次化商品の開発の継続。

□目標値：年間4品、ジャム10種類以上

### (5) 集会所の稼働率アップ

#### ◆実施内容（手段と対策）

①講座アイテムの誘致、例「親子参加企画、専門的分野の映写会、他企業講座」等の情報収集及び自社独自の講座、アグリ事業部門「野菜講座」、観光事業部門「ハーブ講座、ジャム作り講座」など。

□目標値：従来講座プラス、町づくり新規講座含む120%

### (6) 総務・経理

#### ◆実施内容（手段と対策）

①ホームページの整理、及び更新【総合管理事項】

□目標値：1ヶ月毎、施設全体の情報ページチェック、常に新しい村施設全体の情報発信の励行

②月次損益決定数値の現状課題とスピード化

□目標値：当月締め翌月末日作成

③各事業部への伝達事項の明確化及び部門間情報共有の確認

#### 4. 第23期実施、施策収益目標額、及び前期実績比較内訳

金額単位：千円

| 事業項目                | 実施、施策内容                      | 収入額予定 | 前期実績  |
|---------------------|------------------------------|-------|-------|
| ①集落農園「結の里」<br>利用の促進 | ・市民農園「結の里」利用料金               | 890   | 907   |
| ②ほっつけ田植・<br>稲刈り体験   | ・田植え・稲刈り（小学校）<br>・ほっつけ米の販売含む | 2,100 | 2,563 |
| ③農業体験               | ・ブルーベリー摘みとり体験・販売             | 360   | 2     |
|                     | ・野菜収穫体験・販売                   | 290   | 111   |
|                     | ・畑で婚カツ                       | 600   | 0     |
| ④「農」のあるまち<br>づくり講座  | ・料理講座                        | 130   | 222   |
|                     | ・1年を通じた農体験講座                 | 600   | 437   |
|                     | ・ハーブ講座                       | 130   | 356   |
|                     | ・6次化商品開発                     | 450   | 355   |
|                     | ・その他講座                       | 250   | 139   |
| ⑤その他                | ・ハーブ売上                       | 600   | 1,234 |
|                     | ・施設及び備品貸出し・その他商品・イベントなど      |       |       |
| 合計                  |                              | 6,400 | 6,326 |

## VI 施設総合管理

### 1. 第23期年間スケジュール表

| No. | □管理業務内容      | 4月  | 5月  | 6月  | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|--------------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 1   | 草刈作業         | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
| 2   | 施設修繕         | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
| 3   | 消防点検         |     |     |     |    |    | ○  |
| 4   | 浄化槽点検・清掃（定期） |     |     | ○   |    |    | ○  |
| 5   | 浄化槽法定点検      |     |     |     |    |    |    |
| 6   | 電気設備点検（定期）   | ○   |     | ○   |    | ○  |    |
| 7   | 電気設備点検（年1回）  |     |     | ○   |    |    |    |
| 8   | 害虫駆除         | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
| 9   | 特別清掃         |     |     |     | ○  |    |    |
| No. | □管理業務内容      | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 1   | 草刈作業         | ○   | ○   |     |    |    |    |
| 2   | 施設修繕         | ○   | ○   | ○   | ○  | ○  | ○  |
| 3   | 消防点検         |     |     |     |    |    | ○  |

|   |              |   |   |   |  |   |   |
|---|--------------|---|---|---|--|---|---|
| 4 | 浄化槽点検・清掃（定期） |   |   | ○ |  |   | ○ |
| 5 | 浄化槽法定点検      |   |   |   |  |   | ○ |
| 6 | 電気設備点検（定期）   | ○ |   | ○ |  | ○ |   |
| 7 | 電気設備点検（年1回）  |   |   |   |  |   |   |
| 8 | 害虫駆除         | ○ | ○ |   |  |   |   |
| 9 | 特別清掃         |   |   |   |  | ○ |   |

※自然環境の保全と園内の美化に努め、来園者の安全確保と癒しの空間造りを目指します。

## Ⅶ 第23期各事業部収益計画

金額単位：千円

| 項目          | □勘定科目                    | □収益計画   | □前期実績   |
|-------------|--------------------------|---------|---------|
| 売<br>上<br>高 | カフェ事業（地産地消課）             | 11,078  | 10,762  |
|             | 直売所事業（地産地消課）POSレジ通過売上    | 238,400 | 235,728 |
|             | 外販事業（地産地消課）POSレジ通過売上     | 16,570  | 16,324  |
|             | 農業支援事業（アグリ生産課）飼料用米含む     | 47,057  | 42,563  |
|             | グリーンツーリズム事業（総務・経理課）      | 6,400   | 6,326   |
|             | 事業部計                     | 319,505 | 311,703 |
| *           | 売上総損益金額 指定管理料、営業外収益、費用含む | 154,000 |         |
| *           | 販売費及び一般管理費合計             | 148,000 |         |
| *           | 経常損益金額                   | 6,000   |         |

※記載しました各事業収益計画表は、社内用として、直売所、外販部門の売上はPOSレジデータを売上として計上してあります。又、アグリ生産課飼料用米は米売上として計上、同じく材料費、労務費は事業部全体の販売費、及び一般管理費にて計上しました。

■各関係者、及び関係機関への提出用決算書類は、税理士事務所で作成されたものが全て適用になります。

以上



□議案第 2 号 取締役の報酬額の件

取締役の受けるべき報酬の額を年額 500 万円以内とし、支給の額は取締役会議で決定する。

□議案第 3 号 監査役の報酬額の件

監査役の受けるべき報酬の額を 1 名につき年額 8 万 4 千円とする。



□議案第 4 号 会計参与の報酬額の件

会計参与の受けるべき報酬の額を年額 19 万 8 千円とする。